

ネットワークレシーバー R-N803

保証書別添付

取扱説明書

musicCast

ヤマハ製品をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。

- 本機は、高音質なステレオ再生をご家庭で楽しむためのネットワークレシーバーです。
- 本説明書では、本機を使用する方のために、設置や操作方法を説明しています。
- 製品を正しく安全にお使いいただくために、ご使用前に本書をよくお読みください。
お読みになったあとは、保証書と共にいつでも見られるところに大切に保管してください。
- 保証書に「購入日、販売店名」が正しく記入されていることを必ずご確認ください。

本書は下記のウェブサイトからPDF 版をダウンロードできます。

<http://download.yamaha.com/jp/>

安全上のご注意

ご使用の前に、必ずよくお読みください。

■ 必ずお守りください

ここに示した注意事項は、機器を安全に正しくご使用いただき、お客様やほかの方々への危害や財産への損害を未然に防止するためのものです。必ずお守りください。

お読みになったあとは、使用される方がいつでも見られる所に必ず保管してください。

■ 「警告」「注意」について

誤った取り扱いをすると生じることが想定される内容を、危害や損害の大きさと切迫の程度を区分して掲載しています。

■ 記号表示について

この機器や取扱説明書に表示されている記号には、次のような意味があります。

注意喚起を示す記号



禁止を示す記号



行為を指示する記号



- ・点検や修理は、必ずお買い上げの販売店または巻末のヤマハ修理ご相談センターにご依頼ください。
- ・不適切な使用や改造により故障した場合の補償はいたしかねますので、ご了承ください。
- ・本製品は一般家庭向けの製品です。生命や高額財産などを扱うような高度な信頼性を要求される用途に使用しないでください。



警告

「死亡する可能性または重傷を負う可能性が想定される」内容です。

電源/電源コード



禁止

電源コードが破損するようなことをしない。

- ストープなどの熱器具に近づけない
- 無理に曲げたり、加工しない
- 傷つけない
- 重いものをのせない

芯線がむき出しのまま使用すると、感電や火災の原因になります。



禁止

落雷のおそれがあるときは、電源プラグやコードに触らない

感電の原因になります。



必ず実行

電源はこの機器に表示している電源電圧で使用する。

誤って接続すると、火災、感電、または故障の原因になります。



必ず実行

電源コードは、必ず付属のものを使用する。

また、付属の電源コードをほかの機器に使用しない。

火災、やけど、または故障の原因になります。



必ず実行

電源プラグを定期的に確認し、ほこりが付着している場合はきれいに拭き取る。

火災または感電の原因になります。



必ず実行

電源プラグは、見える位置で、手が届く範囲のコンセントに接続する。

万一の場合、電源プラグを容易に引き抜くためです。電源を切った状態でも電源プラグをコンセントから抜かないかぎり電源から完全に遮断されません。



必ず実行

雷が鳴り出したら、早めに電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜く。

火災や故障の原因になります。



必ず実行

長期間使用しないときは、必ずコンセントから電源プラグを抜く。

火災や故障の原因になります。

分解禁止



禁止

この機器を分解したり改造したりしない。

火災、感電、けが、または故障の原因になります。異常を感じた場合など、点検や修理は、必ずお買い上げの販売店または巻末のヤマハ修理ご相談センターにご相談ください。

水に注意



禁止

- この機器の上に花瓶や薬品など液体の入ったものを置かない。
- 浴室や雨天時の屋外など湿気の多いところで使用しない。

内部に水などの液体が入ると、火災や感電、または故障の原因になります。入った場合は、すぐに電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いた上で、お買い上げの販売店または巻末のヤマハ修理ご相談センターに点検をご依頼ください。



禁止

ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない。また、ぬれた手でこの機器を扱わない。

感電や故障の原因になります。

火に注意



禁止

この機器の近くで、火気を使用しない。

火災の原因になります。

お手入れ



禁止

清掃用や潤滑用などの可燃性ガスのエアゾールやスプレーを使用しない。

可燃性ガスが本機の内部に留まり、爆発や火災が発生するおそれがあります。

乾電池



禁止

乾電池を分解しない。

乾電池の中のものに触れたり目に入ったりすると、失明や化学やけどなどのおそれがあります。



禁止

乾電池を火の中に入れない。

破裂により、火災やけがの原因になります。



禁止

乾電池を日光や火のような高温に晒さない。

破裂により、火災やけがの原因になります。



禁止

使い切りタイプの乾電池は充電しない。

充電すると破裂や液漏れの原因になり、失明や化学やけど、けがなどのおそれがあります。



禁止

乾電池が液漏れした場合は、漏れた液に触れない。

失明や化学やけどなどのおそれがあります。万一液が目や口に入ったり皮膚についたりした場合は、すぐに水で洗い流し、医師にご相談ください。

ワイヤレス機器



禁止

医療機器の近くなど電波の使用が制限された区域で使用しない。

この機器が発生する電波により、医療用電気機器の動作に影響を与えるおそれがあります。



禁止

心臓ペースメーカーや除細動器の装着部分から15cm以内で使用しない。

この機器が発生する電波により、ペースメーカーや除細動器の動作に影響を与えるおそれがあります。

異常に気づいたら



必ず実行

下記のような異常が発生した場合、すぐに電源を切り、電源プラグをコンセントから抜く。乾電池を使用している場合は、乾電池をこの機器から抜く。

- 電源コード/プラグが傷んだ場合
- 機器から異常なおいや煙が出た場合
- 機器の内部に異物が入った場合
- 使用中に音が出なくなった場合
- 機器に亀裂、破損がある場合

そのまま使用を続けると、感電や火災、または故障のおそれがあります。至急、お買い上げの販売店または巻末のヤマハ修理ご相談センターに点検や修理をご依頼ください。



必ず実行

この機器を落としたり、強い衝撃を与えたりしないように注意する。落とすなどして破損したおそれのある場合は、すぐに電源を切り、電源プラグをコンセントから抜く。

感電や火災、または故障のおそれがあります。至急、お買い上げの販売店または巻末のヤマハ修理ご相談センターに点検をご依頼ください。



注意

「傷害を負う可能性が想定される」
内容です。

電源/電源コード



禁止

電源プラグを差し込んだとき、ゆるみがあるコンセントを使用しない。
火災や感電の原因になります。



必ず実行

電源プラグを抜くときは、電源コードを持たずに、必ず電源プラグを持って引き抜く。
電源コードが破損して、感電や火災の原因になることがあります。



必ず実行

電源プラグは、コンセントに根元まで、確実に差し込む。
差し込みが不十分のまま使用すると感電したり、プラグにほこりが堆積したりして火災やけどの原因になります。

設置



禁止

不安定な場所や振動する場所に置かない。
この機器が落下や転倒して、けがや故障の原因になります。



禁止

この機器の通風孔(放熱用スリット)をふさがない。
内部の温度上昇を防ぐため、この機器の天面/底面には通風孔があります。機器内部に熱がこもり、火災や故障の原因になります。



禁止

この機器を設置する際は、
● 布やテーブルクロスをかけない。
● じゅうたんやカーペットなどの上には設置しない。
● 天面以外を上にして設置しない。
● 風通しの悪い狭いところへは押し込まない。
機器内部に熱がこもり、火災や故障の原因になります。
本機の周囲に上30cm、左右20cm、背面20cm以上のスペースを確保してください。



禁止

天面以外を上にして設置しない。
故障や転倒してけがの原因となることがあります。



禁止

塩害や腐食性ガスが発生する場所に設置しない。
故障の原因になります。



禁止

地震など災害が発生した場合はこの機器に近づかない。
この機器が落下して、けがの原因になります。



必ず実行

この機器を移動する前に、必ず電源スイッチを切り、接続ケーブルをすべて外す。
ケーブルを傷めたり、お客様やほかの方が転倒したりするおそれがあります。



必ず実行

この機器を持ち運びする場合は、必ず2人以上で行う。
この機器を1人で無理に持ち上げると、腰を傷めるおそれがあります。また、この機器が落下してけがや破損の原因になります。

聴覚障害



禁止

大きな音量で長時間ヘッドホン/スピーカーを使用しない。
聴覚障害の原因になります。異常を感じた場合は、医師にご相談ください。



必ず実行

● ほかの機器と接続する場合は、すべての電源を切った上で行う。
● 電源を入れたり切ったりする前に、必ずこの機器の音量(ボリューム)を最小にする。
聴覚障害、感電または機器の損傷の原因になることがあります。



必ず実行

オーディオシステムの電源を入れるときは、この機器をいつも最後に入れる。電源を切るときは、この機器を最初に切る。
聴覚障害やスピーカーの損傷の原因になることがあります。

お手入れ



必ず実行

お手入れをするときは、必ずコンセントから電源プラグを抜く。
感電の原因になることがあります。

取り扱い



禁止

この機器の通風孔から金属や紙片などの異物を入れない。

火災、感電、または故障の原因になります。入った場合は、すぐに電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いた上で買い上げの販売店または巻末のヤマハ修理ご相談センターに点検をご依頼ください。



禁止

- この機器の上ののったり重いものをのせたりしない。
- ボタンやスイッチ、入出力端子などに無理な力を加えない。

けがをしたり、この機器が破損したりする原因になります。



禁止

接続されたケーブルを引っ張らない。

接続されたケーブルを引っ張ると、機器が破損したり、けがをしたりする原因になります。

乾電池



禁止

乾電池は新しいものと古いものを一緒に使用しない。

乾電池は一度に全部を交換してください。新しいものと古いものを一緒に使用すると、火災、やけど、または液漏れによる炎症の原因になります。



禁止

指定以外の電池を使用しない。また、種類の異なる乾電池を一緒に使用しない。

アルカリとマンガンと一緒に使用したり、メーカーまたは品番の異なる電池と一緒に使用したりすると、火災、やけど、または液漏れによる炎症の原因になります。



禁止

乾電池は乳幼児の手の届くところに置かない。

お子様が誤って飲み込むおそれがあります。また、電池の液漏れなどにより炎症を起こすおそれがあります。



禁止

電池と金属片をいっしょにポケットやバッグなどに入れて携帯、保管しない。

電池がショートし、破裂や液漏れにより、火災やけがの原因になります。



必ず実行

乾電池はすべて+/-の極性表示どおりに正しく入れる。

正しく入れていない場合、火災、やけど、または液漏れによる炎症の原因になります。



必ず実行

長時間使用しない場合や乾電池を使い切った場合は、乾電池をリモコンから抜いておく。

乾電池が消耗し、乾電池から液漏れが発生し、炎症やリモコンの損傷の原因になります。



必ず実行

乾電池を保管する場合および廃棄する場合には、テープなどで端子部を絶縁する。

他の電池や金属製のものと混ぜると、火災、やけど、または液漏れによる炎症の原因になります。

無線に関するご注意

この製品の使用周波数帯では、電子レンジなどの産業・科学・医療用機器のほか、工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）および特定小電力無線局（免許を要しない無線局）並びにアマチュア無線局（免許を要する無線局）が運用されています。

- ・ この機器を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局及び特定小電力無線局並びにアマチュア無線局が運用されていないことを確認してください。
- ・ 万一、この機器から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに使用場所を変えるか、又は機器の運用を停止（電波の発射を停止）してください。

本機の無線方式について

(Wi-Fi)

2.4 DS/OF 4

「2.4」.....2.4 GHz 帯を使用する無線設備
「DS/OF」.....変調方式は DS-SS および OFDM 方式
「4」.....想定干渉距離が 40 m 以内

.....全帯域を使用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避可能

(Bluetooth)

2.4 FH 1

「2.4」.....2.4 GHz 帯を使用する無線設備
「FH」.....変調方式は周波数ホッピング（FH-SS 方式）
「1」.....想定干渉距離が 10 m 以内

.....全帯域を使用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避可能



注意

このラベルが貼られている面に触れないでください。
機器の動作中、高温になることがあります。

本機は、電波法に基づく認証を受けた無線機器を搭載しています。

注記とお知らせ

注記

製品の故障、損傷や誤動作、データの損失を防ぐため、また環境保護のため、お守りいただく内容です。

■ 電源

- この製品を長時間使用しないときは必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。⓪(電源)スイッチを切った状態でも微電流が流れています。

■ 設置

- テレビやラジオ、携帯電話など他の電気製品の近くで使用しないでください。この機器またはテレビやラジオなどに雑音が生じる原因になります。
- 直射日光のあたる場所(日中の車内など)やストーブの近くなど極端に温度が高くなると、逆に温度が極端に低いところ、また、ほこりや振動の多いところで使用しないでください。この機器のパネルが変形したり、内部の部品が故障したり、動作が不安定になったりする原因になります。
- 他の電気製品とはできるだけ離して設置してください。この機器はデジタル信号を扱います。他の電気製品に障害をあたえるおそれがあります。
- 無線機能を使用する場合は、金属製の壁や机、電子レンジ、他の無線機器の近くへの設置を避けてください。遮蔽物があると通信可能距離が短くなる場合があります。

■ 接続

- この機器上にビニール製品やプラスチック製品、ゴム製品などを置かないでください。この機器のパネルが変色 / 変質する原因になります。
- 機器の周囲温度が極端に変化して(機器の移動時や急激な冷暖房下など)、機器が結露しているおそれがある場合は、電源を入れずに数時間放置し、結露がなくなってから使用してください。結露した状態で使用すると故障の原因になることがあります。

■ 取り扱い

- この機器上にビニール製品やプラスチック製品、ゴム製品などを置かないでください。この機器のパネルが変色 / 変質する原因になります。
- 機器の周囲温度が極端に変化して(機器の移動時や急激な冷暖房下など)、機器が結露しているおそれがある場合は、電源を入れずに数時間放置し、結露がなくなってから使用してください。結露した状態で使用すると故障の原因になることがあります。

■ お手入れ

- 手入れするときは、乾いた柔らかい布をご使用ください。ベンジンやシンナーなどの薬剤、洗剤、化学ぞうきんなどを使用すると、変色 / 変質する原因になります。

■ 電池

- 使用済みの乾電池は、各自治体で決められたルールに従って廃棄しましょう。

お知らせ

本製品に関するお知らせです。

■ 製品に搭載されている機能 / データに関するお知らせ

- この製品は、日本国内専用です。
- この製品は、高調波電流規格 JIS C 61000-3-2 に適合しています。
- この装置は、クラス B 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。(VCCI-B)

■ 取扱説明書の記載内容に関するお知らせ

- 本書に掲載されているイラストや画面は、すべて操作説明のためのものです。
- 本書に記載されている会社名および商品名等は、各社の登録商標または商標です。
- ソフトウェアは改良のため予告なしにバージョンアップすることがあります。
- 「⚠ 警告」は、死亡する可能性または重傷を負う可能性が想定される情報です。
- 「⚠ 注意」は、傷害を負う可能性が想定される情報です。
- 「注記」は、製品の故障、損傷や誤動作、データの損失を防ぐための情報です。
- 「メモ」は、製品についての補足情報です。
- 本書は iPhone、iPad、iPod touch を総称して「iPhone」と表記しています。説明文に限定する記載がない場合、「iPhone」という表記は iPhone、iPad、iPod touch を意味します。

目次

本機の特長

本機でできること	8
本機で再生できる音声ソース	8
付属品	9
各部の名称と機能	10
フロントパネル	10
フロントディスプレイ	12
リアパネル	13
リモコン	14

準備する

接続する	16
オーディオ機器を接続する	16
スピーカーを接続する	17
FM/AM アンテナを接続する	18
ネットワークケーブルを接続する	19
無線アンテナを立てる	19
電源コードを接続する	19
本機の電源をオンにする	19
ネットワークに接続する	20
iOS デバイスの設定を共有する	21
ルーターの WPS ボタンを使って設定する	22
無線接続を手動で設定する	22
モバイル端末を本機に直接接続する (ワイヤレスダイレクト)	23
ネットワークの接続状態を確認する	24
MusicCast を設定する	25

再生する

再生	26
入力ソースを選んで再生する	26
フロントディスプレイの表示を切り替える	26
フロントパネルの操作	27
スリープタイマーを使う	28
FM/AM ラジオを聴く	29
周波数を指定して選局する	29
お気に入りのラジオ局を登録する (プリセット)	29
Bluetooth 対応機器を再生する	32
Bluetooth 機器を接続する (ペアリング)	32
Bluetooth 機器の曲を再生する	33
Bluetooth 機器との接続を切断する	33
パソコン (サーバー) の曲を再生する	34
パソコン内の音楽ファイルを共有する	34
パソコン (サーバー) の曲を選ぶ	35
インターネットラジオを聴く	37
AirPlay で音楽を聴く	38
iTunes/iPhone で曲を再生する	38
radiko.jp を聴く	39
Spotify の曲を聴く	39
USB 機器の曲を再生する	40
USB 機器を接続する	40
USB 機器の曲を選ぶ	40
再生中の曲 / 放送局を登録する (プリセット機能)	42
曲 / 放送局を登録する	42
登録した曲 / 放送局を呼び出す	42
曲 / 放送局の登録を解除する	42

設定する

スピーカー設定を自動で調整する (YPAO)	43
エラーメッセージ	45
警告メッセージ	46
再生ソースに合わせて設定する (オプションメニュー)	47
オプションメニュー項目	47
詳細機能を設定する (設定メニュー)	48
設定メニュー項目	48
Network	49
Bluetooth	50
YPAO	51
Volume	51
AutoPowerStdby (Auto Power Standby)	51
ECO Mode	51
システム設定を変更する (アドバンスドセットアップメニュー)	52
アドバンスドセットアップメニュー項目	52
ファームウェアバージョンの確認 (VERSION)	52
スピーカーインピーダンスの切り替え (SP IMP.)	52
リモコン ID の変更 (REMOTE ID)	52
設定の初期化 (INIT)	53
ファームウェアの更新 (UPDATE)	53
ネットワーク経由で本機のファームウェアを 更新する	54

付録

故障かな?と思ったら	55
フロントディスプレイのエラー表示	60
サポートしている機器 / ファイル形式	61
対応機器	61
対応ファイル形式	61
商標	62
主な仕様	63

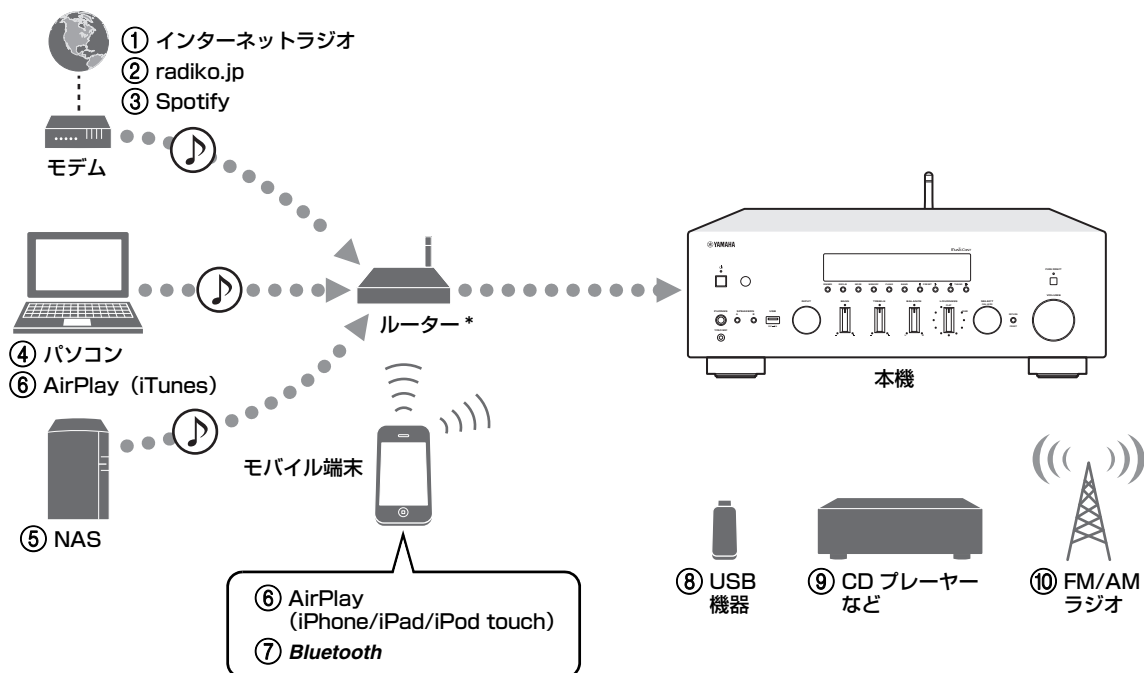
本機の特長

本機でできること

本機は、メディアサーバーやモバイル端末などのネットワークソースに対応するネットワークレシーバーです。

CD プレーヤーや FM/AM ラジオなどの再生をはじめ、*Bluetooth* 機器の再生、ネットワークストリーミングサービスの再生にも対応します。

本機で再生できる音声ソース



* モバイル端末を使う場合は、無線 LAN ルーター（アクセスポイント）が必要です。

- | | |
|----------------------------|-----------------------------------|
| ① インターネットラジオの再生 (37 ページ) | ⑥ AirPlay の再生 (38 ページ) |
| ② radiko.jp の再生 (39 ページ) | ⑦ <i>Bluetooth</i> 機器の再生 (32 ページ) |
| ③ Spotify の再生 (39 ページ) | ⑧ USB 機器の再生 (40 ページ) |
| ④ パソコン内の音楽ファイルの再生 (34 ページ) | ⑨ 外部機器の再生 (26 ページ) |
| ⑤ NAS 内の音楽ファイルの再生 (34 ページ) | ⑩ FM/AM ラジオの再生 (29 ページ) |

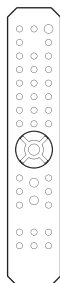
メモ

外部機器の接続方法について詳しくは「接続する」(16 ページ) をご覧ください。

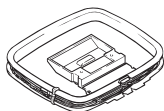
付属品

ご使用になる前に、同梱されている付属品がすべてそろっていることをご確認ください。

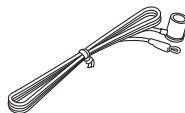
リモコン



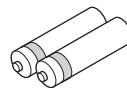
AM アンテナ



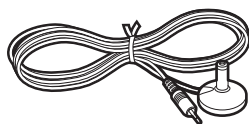
FM アンテナ



単 3 乾電池
(2 本)



YPAO 用マイク



電源コード

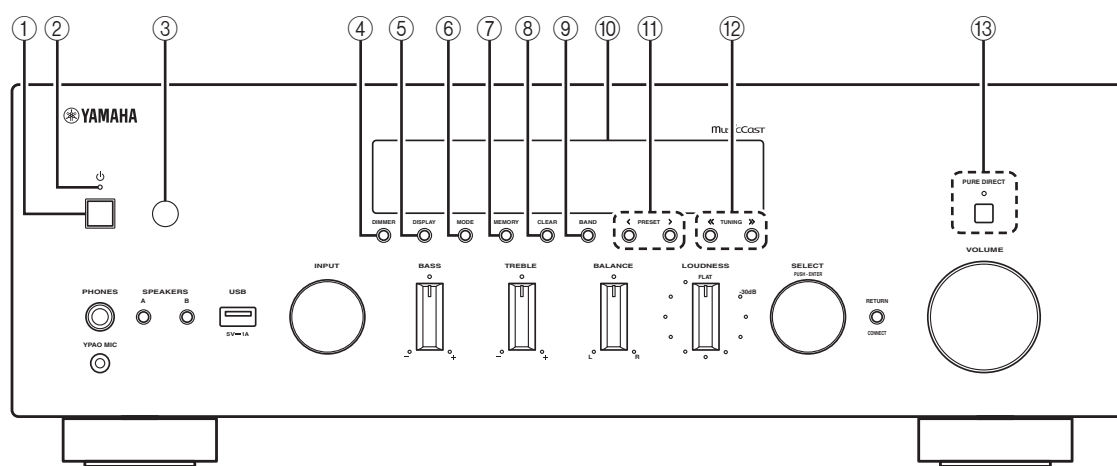


取扱説明書（本書）



各部の名称と機能

フロントパネル



① (電源) スイッチ

電源のオン / オフを切り替えます。

② 電源インジケータ

点灯：電源がオンの状態

暗い点灯：電源がスタンバイの状態

消灯：電源がオフの状態

メモ

この製品を長時間使用しないときは必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。スタンバイ時でも必要最小限の電力を消費しています。

③ リモコン信号受光部

リモコンの信号を受信します。

④ DIMMER (ディマー)

フロントディスプレイの明るさを切り替えます。
キーを押すたびに 5 段階で明るさが替わります。

⑤ DISPLAY (ディスプレイ)

フロントディスプレイに表示される情報を切り替えます (26 ページ)。

⑥ MODE (モード)

FM ラジオの受信方法 (ステレオ / モノラル) を切り替えます (29 ページ)。

⑦ MEMORY (メモリー)

FM/AM ラジオの再生時に FM/AM 放送局を登録 (プリセット) します (30 ページ)。
ネットワーク入力、USB 入力の選択時に、再生中の曲や放送局を登録 (プリセット) します (42 ページ)。

⑧ CLEAR (クリア)

FM/AM ラジオの再生時、登録 (プリセット) した放送局を登録解除します (31 ページ)。
ネットワーク入力、USB 入力の選択時、登録 (プリセット) した曲 / 放送局を登録解除します (42 ページ)。

⑨ BAND (バンド)

FM/AM を切り替えます (29 ページ)。

⑩ フロントディスプレイ

各種情報が表示されます (12 ページ)。

⑪ PRESET (プリセット) < / >

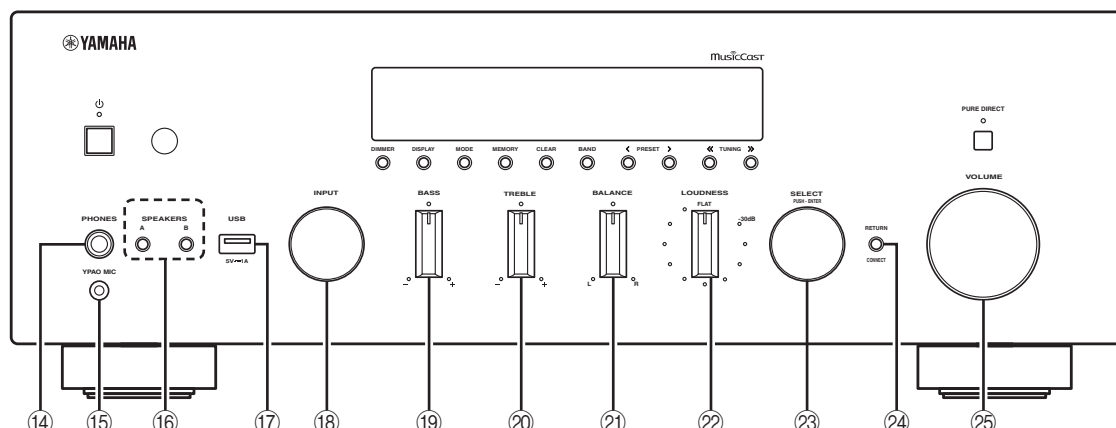
登録 (プリセット) した FM/AM 放送局 (31 ページ) や、登録した曲 / インターネットラジオ局を呼び出します (42 ページ)。

⑫ TUNING (チューニング) << / >>

FM/AM ラジオの周波数を切り替えます (29 ページ)。

⑬ PURE DIRECT (ピュアダイレクト)

ピュアダイレクトのオン / オフを切り替えます (27 ページ)。オンにすると、インジケータが点灯し、フロントパネルが消灯します。



⑭ PHONES (ヘッドホン) 端子

ヘッドホンを接続します。

⑮ YPAO MIC 端子

付属の YPAO 用マイクを接続します (43 ページ)。

⑯ SPEAKERS (スピーカー) A/B

再生するスピーカーを切り替えます。「A」を押すと SPEAKERS A 端子に接続したスピーカー、「B」を押すと SPEAKERS B 端子に接続したスピーカーのオン/オフができます。

⑰ USB 端子

USB 機器 (40 ページ) を接続します。

⑱ INPUT (インプット) セレクター

本機の入力ソースを切り替えます。

⑲ BASS (バス) コントロール

出力される音声の低音域の特性を調整します (27 ページ)。中央に合わせたとき、フラットになります。

⑳ TREBLE (トレブル) コントロール

出力される音声の高音域の特性を調整します (27 ページ)。中央に合わせたとき、フラットになります。

㉑ BALANCE (バランス) コントロール

左右の音量バランスを調整します (27 ページ)。スピーカーの位置や室内の条件による音のアンバランスを補正します。

㉒ LOUDNESS (ラウドネス) コントロール

音量によらず、すべての音域を自然に再生できるように調節します (27 ページ)。

メモ

YPAO ボリューム機能 (51 ページ) を有効にしている場合、LOUDNESS の調節はできません。

㉓ SELECT/ENTER (セレクト / エンター)

回して選択項目を切り替え、押して選択を確定します。

㉔ RETURN (リターン)

フロントパネルディスプレイにひとつ上の階層のメニューを表示します。

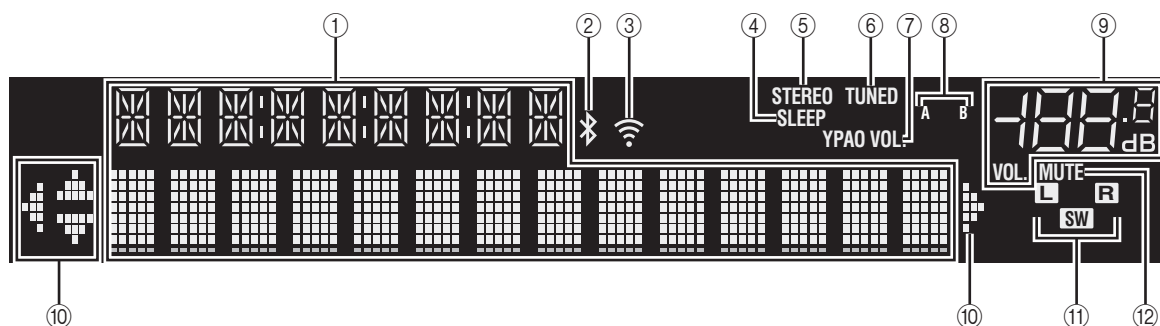
CONNECT (コネクト)

本機を MusicCast ネットワークに登録するときに使用します (25 ページ)。

㉕ VOLUME (ボリューム) コントロール

本機の音量を調節します。

フロントディスプレイ



メモ

- ・本機を購入後、または設定を初期化後に電源をオンにすると、フロントディスプレイに「WAC」(Wireless Accessory Configuration) と表示され、iOS デバイス (iPhone/iPad/iPod touch) を自動で検索します。iOS デバイスとのネットワーク接続については「iOS デバイスの設定を共有する」(21 ページ) をご覧ください。
- ・フロントディスプレイの明るさは、フロントパネルの DIMMER を押して調節できます (10 ページ)。

① 情報ディスプレイ

入力ソース名など本機の各種情報が表示されます。
フロントパネルの DISPLAY を押すと、表示される情報を切り替えられます (26 ページ)。

② Bluetooth インジケーター

Bluetooth 機器に接続すると点灯します。

③ Wi-Fi インジケーター

無線接続している場合や、アクセスポイントとして動作しているときに点灯します。電波の強さも確認できます。

④ SLEEP (スリープ) インジケーター

スリープタイマーを設定すると点灯します (28 ページ)。

⑤ STEREO (ステレオ) インジケーター

FM ラジオをステレオで受信すると点灯します。

⑥ TUNED (チューンド) インジケーター

FM/AM ラジオを受信すると点灯します。

⑦ YPAO VOL. (YPAO ボリューム) インジケーター

YPAO (スピーカー自動調整) を実行後、設定メニューの「YPAO Volume」(51 ページ) が「On」の場合に点灯します。

⑧ A/B インジケーター

オンになっているスピーカー (A/B) のインジケーターが点灯します。

⑨ 音量インジケーター

本機の音量設定を表示します。

⑩ カーソルインジケーター

リモコンのカーソルキーを使って操作可能な場合に点灯します。

⑪ スピーカーインジケーター

YPAO (スピーカー自動調整) の測定中、音を出しているスピーカーを表示します。

L フロントスピーカー (左)

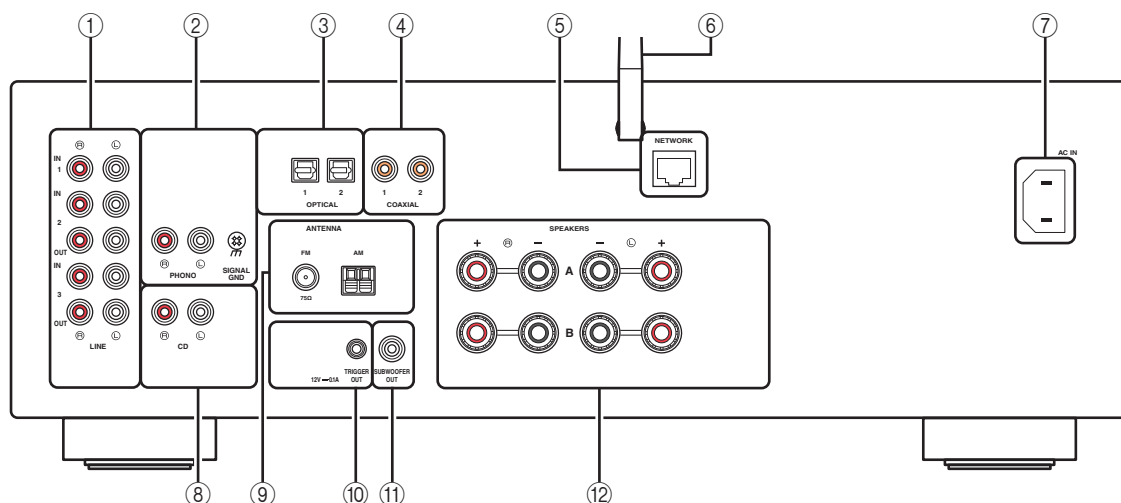
R フロントスピーカー (右)

SW サブウファー

⑫ MUTE (ミュート) インジケーター

音声をミュート (消音) すると点滅します。

リアパネル



① LINE (ライン) 1～3 端子

アナログ音声入出力を持つ外部機器を接続します (16 ページ)。

② PHONO (フォノ) 端子

レコードプレーヤーを接続します (16 ページ)。

③ OPTICAL (オプティカル) 1/2 端子

光デジタル出力を持つ外部機器を接続します (16 ページ)。

④ COAXIAL (コアキシャル) 1/2 端子

同軸デジタル出力を持つ外部機器を接続します (16 ページ)。

⑤ NETWORK (ネットワーク) 端子

ネットワークケーブルを接続し、本機をネットワークに接続します (19 ページ)。

⑥ 無線アンテナ

ネットワーク機器とワイヤレス接続します (19 ページ)。

⑦ AC IN (AC イン) 端子

電源コードを接続します (19 ページ)。

⑧ CD 端子

CD プレーヤーなどを接続します (16 ページ)。

⑨ ANTENNA (アンテナ) 端子

FM/AM アンテナを接続します (18 ページ)。

⑩ TRIGGER OUT (トリガーアウト) 端子

トリガー機能対応のサブウーファーを接続します (16 ページ)。

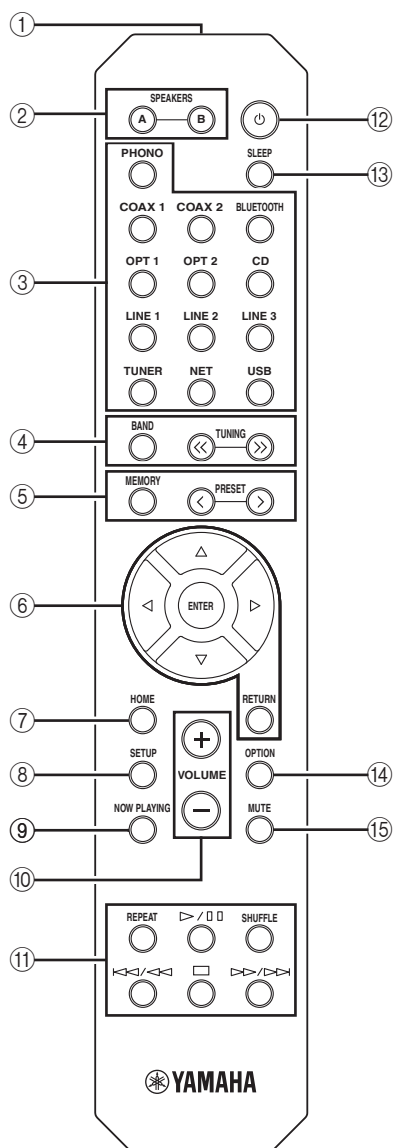
⑪ SUBWOOFER OUT (サブウーファアウト) 端子

アンプ内蔵のサブウーファーを接続します (16 ページ)。

⑫ SPEAKERS (スピーカー) 端子

スピーカーを接続します (16 ページ)。

リモコン



① リモコン信号送信部

リモコン信号を送信します。

② SPEAKERS (スピーカー) A/B

再生するスピーカーを切り替えます。「A」を押すと SPEAKERS A 端子に接続したスピーカー、「B」を押すと SPEAKERS B 端子に接続したスピーカーのオン / オフができます。

③ 入力選択キー

再生したい入力ソースを選びます。

PHONO	PHONO 端子
COAX 1/2	COAXIAL 1/2 端子
BLUETOOTH	Bluetooth 入力
OPT 1/2	OPTICAL 1/2 端子
CD	CD 端子
LINE 1 ~ 3	LINE 1 ~ 3 端子
TUNER	FM/AM ラジオ
NET	ネットワーク入力 (キーを押すたびに別のネットワーク系ソースに切り替わります)
USB	USB 端子

④ ラジオキー

FM/AM ラジオを操作します (29 ページ)。

BAND	FM/AM を切り替えます。
TUNING <</>>	ラジオの周波数を切り替えます。

⑤ プリセットキー

MEMORY	FM/AM ラジオの再生時に FM/AM 放送局を登録 (プリセット) します (30 ページ)。 ネットワーク入力、USB 入力の選択時に、再生中の曲や放送局を登録 (プリセット) します (42 ページ)。
PRESET </>	登録 (プリセット) した FM/AM 放送局 (31 ページ) や、登録した曲 / インターネットラジオ局を呼び出します (42 ページ)。

⑥ メニュー操作キー

カーソルキー (Δ/▽/◀/▶)	メニューや設定値などを選びます。
ENTER	選択項目を決定します。
RETURN	メニュー操作中に、1 つ前の表示に戻します。

⑦ HOME (ホーム)

音楽ファイルやフォルダなどの選択操作中に、一番上の階層に移動します。

⑧ SETUP (セットアップ)

設定メニューを表示します (48 ページ)。

⑨ NOW PLAYING (ナウプレイング)

音楽ファイルやフォルダなどの選択操作中に、曲情報を表示します。

⑩ VOLUME（ボリューム）+ / -

本機の音量を調節します。

⑪ 再生キー

ネットワーク入力や *Bluetooth* 入力、USB 入力の選択時に再生操作を行います。

メモ

Bluetooth 機器によっては、操作できない機能があります。

⑫ ㊦（電源）

電源のオン / スタンバイを切り替えます。

メモ

フロントパネルの㊦（電源）スイッチがオンの場合に操作可能です

⑬ SLEEP（スリープ）

スリープタイマーを設定します（28 ページ）。

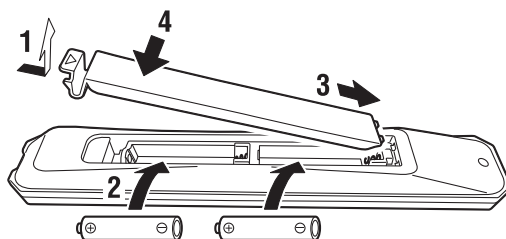
⑭ OPTION（オプション）

オプションメニューを表示します（47 ページ）。

⑮ MUTE（ミュート）

本機の音声をミュートします。

■ 乾電池を入れる

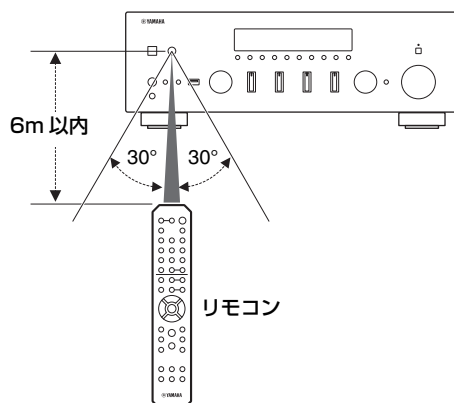


メモ

- ・リモコンで操作可能な範囲が極端に短くなりましたら、すべての乾電池を新しいものに交換してください。
- ・新しい乾電池と交換する場合は、電池ケース内のほこりをふき取ってください。

■ 操作範囲

リモコンは必ず本体のリモコン信号受光部に向けて操作してください。



準備する

接続する

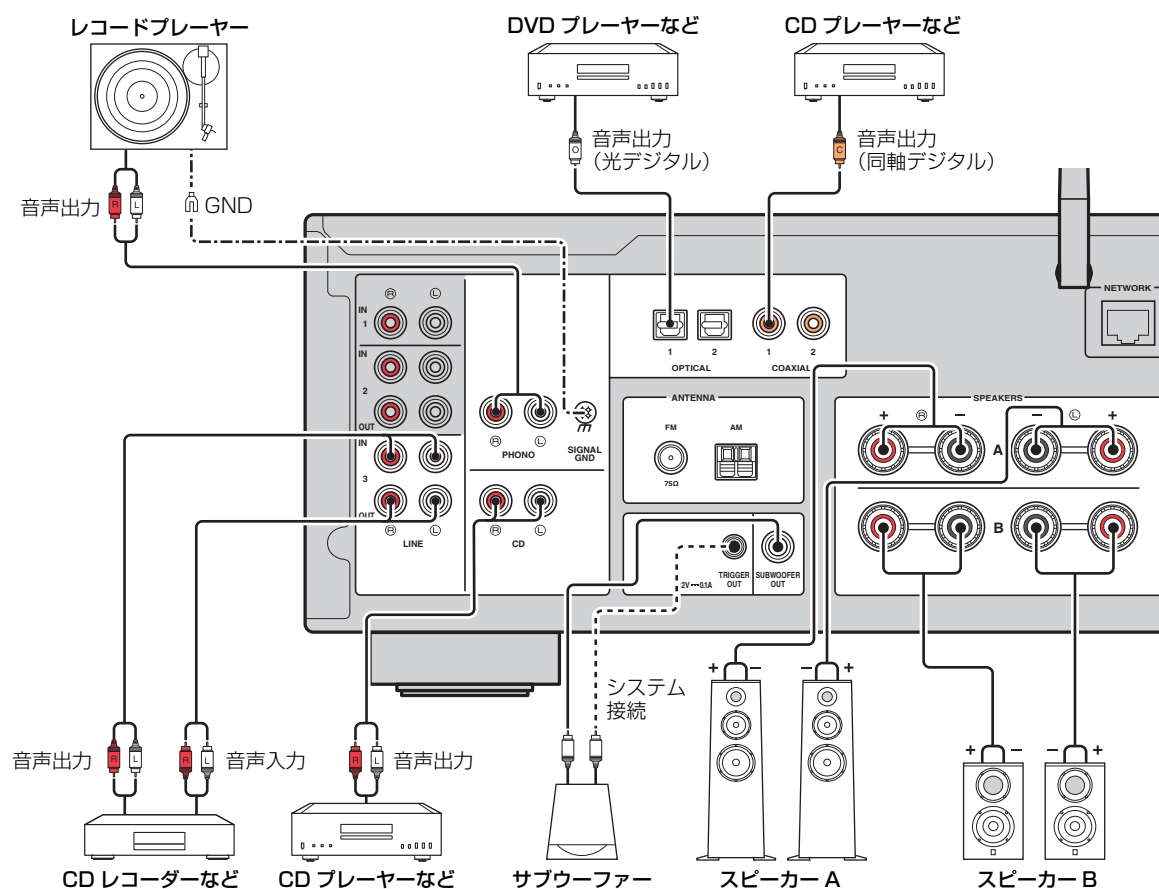
オーディオ機器を接続する

左チャンネル (L)、右チャンネル (R)、+ (赤)、- (黒) をよく確認して、正しく接続してください。接続が間違っていると、スピーカーから音が出ない場合があります。また、極性が間違っていると、音が不自然に聞こえたり低音が聞こえなかったりすることがあります。

外部機器に付属している取扱説明書もご覧ください。外部機器と接続する際は、端子の形状に応じて RCA タイプのピンケーブル、光ファイバーケーブル、USB ケーブルを使用してください。

⚠ 注意

- すべての接続が終わるまで、本機や本機に接続した機器の電源コードを家庭用コンセントに差し込まないでください。
- スピーカーケーブルの裸線部は、他のスピーカーケーブルの裸線部または本機の金属部分とは接触させないでください。本機やスピーカーが損傷することがあります。



本機のデジタル入力端子 (OPTICAL/COAXIAL) に入力できるデジタル信号は、PCM 信号のみです。

メモ

- 音声ケーブルとスピーカーケーブルを配線する際、電源コードと束ねないでください。雑音が出力される原因になります。
- 本機には MM カートリッジを備えたレコードプレーヤーを接続できます。
- レコードプレーヤーのアースを SIGNAL GND 端子に接続すると、雑音を低減することができます。ただし、レコードプレーヤーによっては、SIGNAL GND 端子に接続しないほうが雑音が少ない場合があります。
- システム接続に対応しているヤマハ製サブウーファーや、トリガー入力端子がある機器をお使いの場合は、モノラルミニプラグケーブルを使って本機の TRIGGER OUT 端子に接続すると、本機の電源オン/オフに連動して外部機器の電源を操作できます。
- 音声のループを防ぐため、LINE 2 入力の選択中は LINE 2 (OUT) 端子から音声は出力されません。同様に LINE 3 入力の選択中は LINE 3 (OUT) 端子から音声は出力されません。

スピーカーを接続する

⚠ 注意

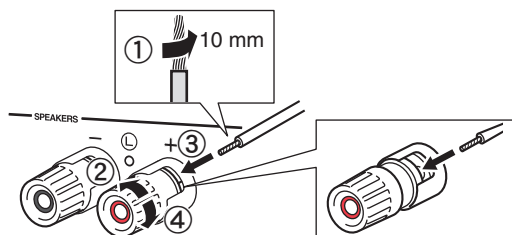
下記のインピーダンスを持つスピーカーを使用してください。インピーダンスが極端に低いスピーカーを接続すると、本機がオーバーヒートを起こす場合があります。アドバンスドセットアップメニューの「SP. IMP」(52 ページ)で本機のスピーカーインピーダンス設定を変更できます。

スピーカー接続	スピーカーインピーダンス (SP IMP.)	
	4Ω MIN	6Ω MIN (初期値)
スピーカー A/B のいずれかを接続	4Ω 以上	6Ω 以上
スピーカー A/B の両方を接続	8Ω 以上	12Ω 以上
バイワイヤリング接続	4Ω 以上	6Ω 以上

■ スピーカーケーブルを接続する

通常スピーカーケーブルは 2 芯 (+ と -) で 1 本になっています。片方で本機とスピーカーの - (マイナス) 端子どうし、もう一方で + (プラス) 端子どうしを接続してください。色で区別されている場合、黒を - (マイナス) 側、もう一方を + (プラス) 側と決めておくこと間違わずに接続できます。

- ① スピーカーケーブル先端の絶縁部 (被覆) を約 10mm はがし、芯線をしっかりよじる。
- ② スピーカー端子を左に回して、ゆるめる。
- ③ スピーカー端子の穴に、スピーカーケーブルの芯線を差し込む。
- ④ スピーカー端子を右に回して締める。

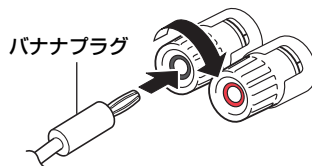


メモ

スピーカーケーブルの芯線部のみをスピーカー端子の穴に差し込んでください。絶縁部 (被膜) を差し込んでしまうと接続不良となり、音声が出力されない場合があります。

■ バナナプラグを使用して接続する

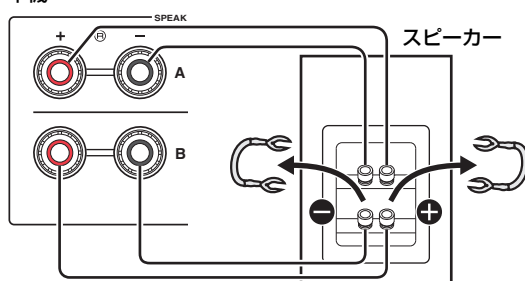
スピーカー端子を強くしめてから、バナナプラグを差し込みます。



■ バイワイヤリング接続

バイワイヤリング接続に対応したスピーカーには 4 つのターミナルが備わっており、スピーカーのウーファー部とツイーター/ミッドレンジ部を独立して駆動します。以下のようにバイワイヤリング接続をすることで、濁りのない中高音を楽しむことができます。

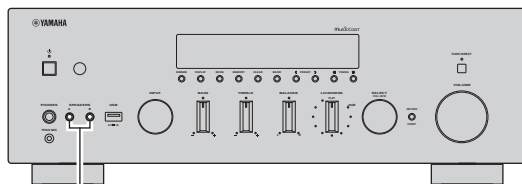
本機



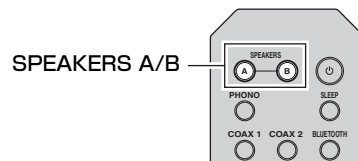
もう一方のスピーカーも同様に接続します。

メモ

- バイワイヤリング接続をするときは、必ずスピーカー側の端子に装着された金具やケーブルを取り外してください。詳しくは、スピーカー付属の取扱説明書をご覧ください。
- バイワイヤリング接続を利用するには、フロントパネルまたはリモコンの SPEAKERS A/B を押して、両方のスピーカーをオン (「A」と「B」が点灯) にしてください。



SPEAKERS A/B



SPEAKERS A/B

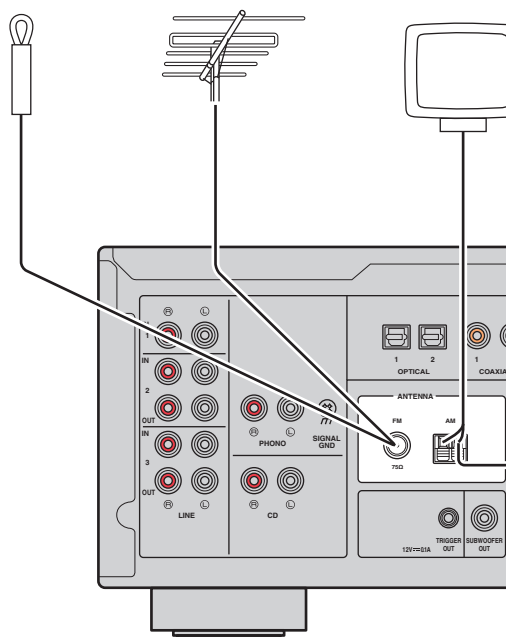
FM/AMアンテナを接続する

付属の FM アンテナと AM アンテナを接続します。

メモ

付属の FM アンテナおよび AM アンテナでうまく受信ができない場合は、市販の屋外アンテナをご使用ください。屋外アンテナの入手方法については、お近くの家電販売店や音響機器の販売店にご相談ください。

FM アンテナ
(付属品) または FM 屋外
アンテナ



AM アンテナ (付属品)

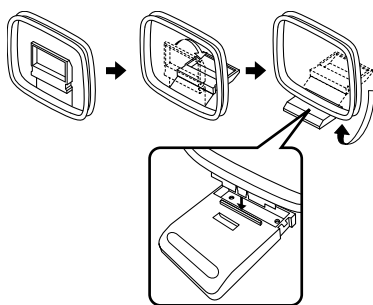
屋外アンテナを設置した場合でも、付属の AM アンテナは必ず接続してください。

AM アンテナは本機から離して設置してください。

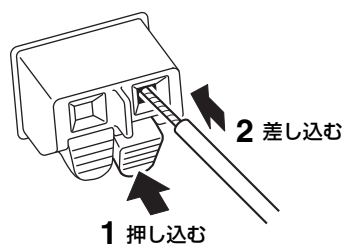
AM 屋外アンテナ

付属のAMアンテナで受信状態がよくない場合は、市販の5～10mのビニール被覆線を屋外に張ってください。

■ AMアンテナの組立方法



■ AMアンテナの接続方法



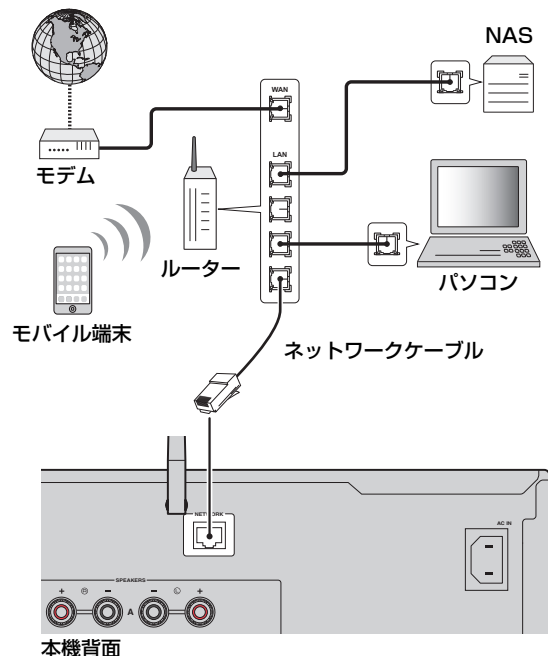
ネットワークケーブルを接続する

市販の STP ネットワークケーブル（CAT-5 以上のストレートケーブル）を使って接続してください。

メモ

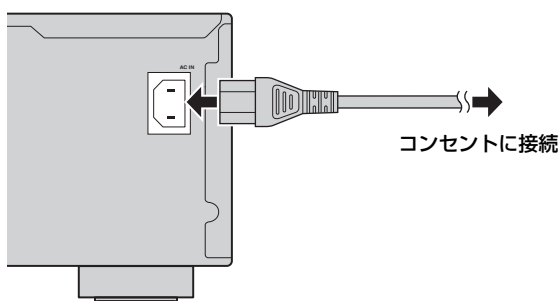
電磁波の干渉を防ぐため、STP (Shielded Twisted Pair) ネットワークケーブルをお使いください。

インターネット




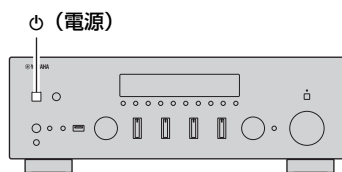
電源コードを接続する

すべての接続が終了したら、付属の電源コードを本機に接続し、電源プラグを家庭用コンセントに接続します。



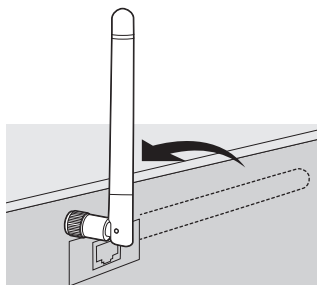
本機の電源をオンにする

フロントパネルの （電源）を押して、本機の電源をオンにします。



無線アンテナを立てる

無線接続および Bluetooth 機能を使用する場合は、無線アンテナを立ててご使用ください。ネットワークに無線接続する場合の設定方法は「ネットワークに接続する」（20 ページ）、Bluetooth 機器を使用する場合は「Bluetooth 対応機器を再生する」（32 ページ）をご覧ください。



注記

無線アンテナに極端な力を加えたりしないでください。破損するおそれがあります。

ネットワークに接続する

本機はいくつかの方法でネットワークに接続できます。ご使用になる環境に合わせてお好みの接続方法を選んでください。

メモ

- ・セキュリティソフトや、ネットワーク機器の設定（ファイアウォールなど）により、本機がパソコンやインターネットラジオにアクセスできないことがあります。その場合はセキュリティソフトやネットワーク機器の設定を変更してください。
- ・サブネットを手動で設定する場合は、すべて本機と同じサブネットに設定してください。
- ・インターネット接続はブロードバンド回線を推奨します。
- ・ネットワーク経由でハイレゾ音源を再生する場合は、安定した再生が行えるよう有線 LAN 接続をおすすめします。

WAC (Wireless Accessory Configuration) について

本機を購入後、または設定を初期化後に電源をオンにすると、フロントディスプレイに「WAC」と表示され、iOS デバイス (iPhone/iPad/iPod touch) の Wi-Fi 設定を本機に適用して、本機の無線接続を設定できます（本機がすでに有線 LAN に接続されている場合を除く）。



iOS デバイスをお持ちの場合は、「iOS デバイスの設定を共有する」（21 ページ）の手順 6 以降を実行してください。

別の方法で本機の無線接続を設定する場合は、リモコンの RETURN を押して「WAC」の表示を消してから、以下のいずれかの方法を実行してください。

■ 無線 LAN ルーター（アクセスポイント）を使って接続する場合

ご使用になる環境に合わせて、下記いずれかの方法でネットワークに接続してください。

「MusicCast CONTROLLER」を使って
接続する



本機を MusicCast ネットワーク
に接続すると、無線ネットワーク
へ接続することもできます
(25 ページ)

iOS デバイス (iPhone/iPad/iPod touch) の
Wi-Fi 設定を使って接続する



iOS デバイスの Wi-Fi 設定を共有
してください (21 ページ)

無線 LAN ルーター(アクセスポイント)の WPS
ボタンを使って接続する



WPS ボタンを使って設定してく
ださい (22 ページ)

WPS ボタンのない無線 LAN ルーター (アクセ
スポイント) と接続する



手動でネットワーク設定を行って
ください (22 ページ)

■ 有線LANルーターを使って接続する場合

ルーターの DHCP 機能を使って接続する

有線 LAN 接続を行うだけでネットワークに接続できます
(19 ページ)

メモ

- ・設定メニューの「IP Address」(49 ページ) で本機のネットワーク情報 (IP アドレスなど) を設定できます。
- ・無線接続を使用したあと、有線 LAN 接続に変更する場合は、設定メニューの「Connection」(49 ページ) を「Wired」に設定してください。

■ 有線LANルーターまたは無線LANルーター（アクセスポイント）がない場合

モバイル端末と本機を無線接続する (ワイヤレスダイレクト)

ワイヤレスダイレクトで無線接続してください (23 ページ)

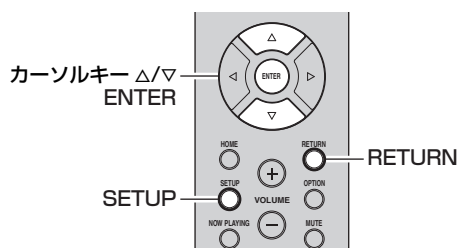
メモ

ワイヤレスダイレクトで接続した場合、他の無線 LAN ルーター (アクセスポイント) には接続できません。インターネット上のコンテンツの再生や、ネットワーク経由でファームウェアの更新を行う場合は、有線 LAN ルーターまたは無線 LAN ルーター (アクセスポイント) を使って本機をインターネットに接続してください。

iOS デバイスの設定を共有する

お使いの iOS デバイス (iPhone/iPad/iPod touch) のネットワーク設定を本機に適用して、簡単に無線接続を設定できます。

以下の手順を実行する前に、お使いの iOS デバイスが無線 LAN ルーター (アクセスポイント) に接続されていることをご確認ください。



メモ

- ・この方法で無線接続の設定を開始すると、本機のネットワーク設定がすべて初期化されます。
- ・セキュリティ方式に WEP を使用している無線 LAN ルーター (アクセスポイント) には接続できません。この場合は、別の接続方法をお試しください。

1 SETUP を押す。

2 カーソルキー (△/▽) で「Network」を選び、ENTER を押す。

メモ

RETURN を押すと 1 つ前の表示に戻すことができます。

3 カーソルキー (△/▽) で「Connection」を選び、ENTER を押す。

4 カーソルキー (△/▽) で「Wireless」を選び、ENTER を押す。

5 カーソルキー (△/▽) で「Share Setting」を選び、ENTER を 2 度押す。



メモ

有線ネットワークで接続している場合は、フロントディスプレイに「LAN CABLE」、「Pls disconnect」と表示されます。本機からネットワークケーブルを取り外し、ENTER を押してください。

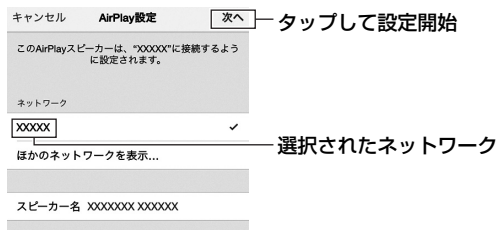
6 iOS デバイスの Wi-Fi 画面で、AirPlay スピーカーを本機に設定する。

例 (iOS 10)



—— 本機の名前

- 7 選択されたネットワークを確認し「次へ」をタップする。



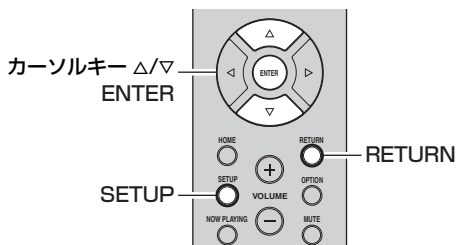
共有設定が完了すると、自動的に本機がネットワークに接続されます。
本機が無線ネットワークに接続されているか確認してください (24 ページ)。

ルーターのWPS ボタンを使って設定する

無線 LAN ルーター (アクセスポイント) の WPS ボタンを押すだけで、簡単に無線接続を設定できます。

メモ

セキュリティ方式に WEP または WPA2-TKIP を使用している無線 LAN ルーター (アクセスポイント) には接続できません。この場合は、別の接続方法をお試しください。

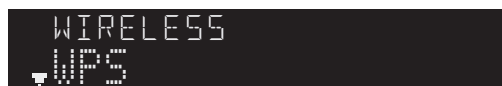


- 1 SETUP を押す。
- 2 カーソルキー (△/▽) で「Network」を選び、ENTER を押す。

メモ

RETURN を押すと 1 つ前の表示に戻すことができます。

- 3 カーソルキー (△/▽) で「Connection」を選び、ENTER を押す。
- 4 カーソルキー (△/▽) で「Wireless」を選び、ENTER を押す。



- 5 ENTER を 2 度押す。

フロントディスプレイに「Connecting」と表示されます。

- 6 無線 LAN ルーター (アクセスポイント) の WPS ボタンを押す。

接続が完了すると、フロントディスプレイに「Completed」と表示されます。設定が終わったら、本機が無線ネットワークに接続されているか確認してください (24 ページ)。
「Not connected」と表示された場合は、手順 1 からやり直すか、別の接続方法をお試しください。

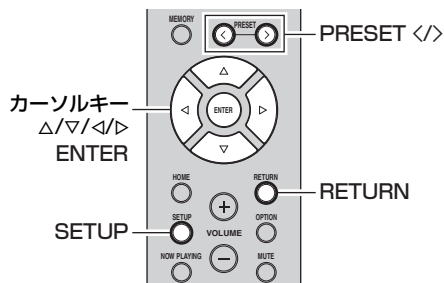
- 7 設定メニューを終了するには SETUP を押す。

WPS とは

WPS (Wi-Fi Protected Setup) とは、Wi-Fi Alliance によって策定された規格です。WPS により、無線ネットワークを簡単に設定できます。

無線接続を手動で設定する

本機を手動で無線ネットワークに接続します。以下の手順を行う前に、無線 LAN ルーター (アクセスポイント) のセキュリティ方式とセキュリティキーを確認してください。

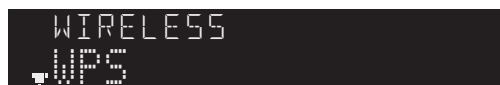


- 1 SETUP を押す。
- 2 カーソルキー (△/▽) で「Network」を選び、ENTER を押す。

メモ

RETURN を押すと 1 つ前の表示に戻すことができます。

- 3 カーソルキー (△/▽) で「Connection」を選び、ENTER を押す。
- 4 カーソルキー (△/▽) で「Wireless」を選び、ENTER を押す。



- 5 カーソルキー（△/▽）で「Manual Setting」を選び、ENTER を押す。



- 6 カーソルキー（△/▽）で「SSID」を選び、ENTER を押す。



- 7 カーソルキーで無線 LAN ルーター（アクセスポイント）の SSID を入力し、RETURN を押す。

カーソルキー（△/▽）で文字の変更、カーソルキー（◀/▶）で入力位置を変更できます。PRESET<> で文字の挿入、PRESET< で文字の削除ができます。

- 8 カーソルキー（△/▽）で「Security」を選び、ENTER を押す。



- 9 カーソルキー（◀/▶）でセキュリティ方式を選び、RETURN を押す。

設定値

None、WEP、WPA2-PSK (AES)、Mixed Mode

メモ

「None」を選択した場合、通信が暗号化されず、安全な通信ができない場合があります。

- 10 カーソルキー（△/▽）で「Security Key」を選び、ENTER を押す。



- 11 カーソルキーで無線 LAN ルーター（アクセスポイント）のセキュリティキーを入力し、RETURN を押す。

手順 9 で「WEP」を選んだ場合は、5 桁か 13 桁の文字、または 10 桁か 26 桁の 16 進数を入力します。「WPA2-PSK (AES)」または「Mixed Mode」を選んだ場合は、8 ～ 63 桁の文字、または 64 桁の 16 進数を入力します。カーソルキー（△/▽）で文字の変更、カーソルキー（◀/▶）で入力位置を変更できます。PRESET<> で文字の挿入、PRESET< で文字の削除ができます。

- 12 カーソルキー（△/▽）で

「Connect[ENTER]」を選び、ENTER を押し、接続を実行する。

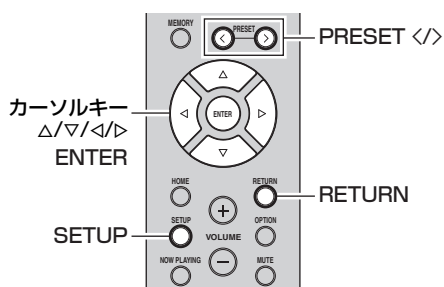
接続されない場合は、入力した SSID またはセキュリティキーが正しくない可能性があります。手順 6 からやり直してください。

設定メニューで本機が無線ネットワークに接続されているか確認できます（24 ページ）。

- 13 設定メニューを終了するには SETUP を押す。

モバイル端末を本機に直接接続する（ワイヤレスダイレクト）

ワイヤレスダイレクトを使うと、本機をアクセスポイントとして動作させて、モバイル端末と直接接続できます。



メモ

ワイヤレスダイレクト使用時は、本機やモバイル端末をインターネットに接続できません。そのため、インターネットラジオなどのインターネットサービスを利用できません。

- 1 SETUP を押す。
- 2 カーソルキー（△/▽）で「Network」を選び、ENTER を押す。

メモ

RETURN を押すと 1 つ前の表示に戻すことができます。

- 3 カーソルキー（△/▽）で「Connection」を選び、ENTER を押す。
- 4 カーソルキー（△/▽）で「WirelessDirect」を選び、ENTER を押す。



- 5 ENTER を押して本機の SSID を確認し、RETURN を押す。

- 6 カーソルキー（△/▽）で「Security」を選び、ENTER を押す。



- 7 カーソルキー（ \triangle/∇ ）でセキュリティー方式を選び、RETURN を押す。

設定値

None、WPA2-PSK (AES)

メモ

- ・「None」を選択した場合は、手順 10 に進んでください。
- ・「None」を選択した場合、通信が暗号化されず、安全な通信ができない場合があります。

- 8 カーソルキー（ \triangle/∇ ）で「Security Key」を選び、ENTER を押す。



- 9 カーソルキーで任意のセキュリティーキーを入力し、RETURN を押す。

8 ～ 63 桁の文字、または 64 桁の 16 進数を入力します。

カーソルキー（ \triangle/∇ ）で文字の変更、カーソルキー（ \triangle/∇ ）で入力位置を変更できます。

PRESET \triangleright で文字の挿入、PRESET \triangleleft で文字の削除ができます。

- 10 カーソルキー（ \triangle/∇ ）で「Connect[ENTER]」を選び、ENTER を押す。

- 11 モバイル端末の Wi-Fi 設定を行う。

詳しくは、モバイル端末の取扱説明書をご覧ください。

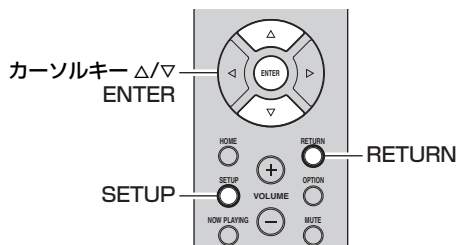
- (1) モバイル端末の Wi-Fi 機能を有効にする。
- (2) 利用可能なアクセスポイントの一覧が表示されたら、手順 5 で確認した本機の SSID を選ぶ。
- (3) パスワードの入力を求められたら、手順 9 で設定したセキュリティーキーを入力する。

接続されない場合は、入力したセキュリティーキーが正しくない可能性があります。再度モバイル端末の Wi-Fi 設定をやり直してください。

- 12 設定メニューを終了するには SETUP を押す。

ネットワークの接続状態を確認する

以下の手順で本機がネットワークに接続されているか確認できます。



- 1 SETUP を押す。
- 2 カーソルキー（ \triangle/∇ ）で「Network」を選び、ENTER を押す。

メモ

RETURN を押すと 1 つ前の表示に戻すことができます。

- 3 カーソルキー（ \triangle/∇ ）で「Information」を選び、ENTER を押す。
- 4 カーソルキー（ \triangle/∇ ）で「STATUS」を選ぶ。



「Connect」と表示された場合は本機がネットワークに接続されています。「Disconnect」と表示された場合は、接続設定をやり直してください。

- 5 設定メニューを終了するには SETUP を押す。

MusicCastを設定する

■ MusicCast について

MusicCast を使えば、複数の部屋に設置した MusicCast 対応機器で、音楽を共有できます。専用アプリ「MusicCast CONTROLLER」により、簡単な操作で家庭内のどこにいても、スマートフォンやメディアサーバー（パソコン/NAS）、インターネットラジオ（ストリーミングサービス）の音楽を楽しめます。

- ・専用アプリ「MusicCast CONTROLLER」を使用して、すべての MusicCast 対応機器を操作できます。
- ・別々の部屋に設置した複数の MusicCast 対応機器をリンクし、音楽を同時に再生できます。
- ・インターネットラジオ（ストリーミングサービス）の音楽を再生できます。
- ・MusicCast 対応機器のネットワーク設定ができます。

MusicCast の詳細と対応機器については、次のウェブサイトをご覧ください。

<http://www.yamaha.com/musiccast/>

メモ

MusicCast については、Yamaha Download サイトから MusicCast セットアップガイドをダウンロードしてください。

<http://download.yamaha.com/>

■ MusicCast CONTROLLER



MusicCast 対応機器でネットワーク機能を使うためには、モバイル端末用の専用アプリ「MusicCast CONTROLLER」が必要です。App Store または Google Play で「MusicCast CONTROLLER」（無料）を検索し、インストールしてください。

■ MusicCast ネットワークに登録する

本機を MusicCast ネットワークに登録します。同時に無線ネットワークへ接続することもできます。

メモ

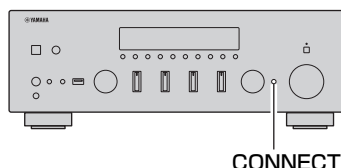
使用する無線ネットワークの SSID（ネットワーク名）とセキュリティキーが必要になります。

- 1 モバイル端末で「MusicCast CONTROLLER」を起動し、「設定する」をタップする。

メモ

すでに別の MusicCast 機器に登録している場合は、「設定」の「新しい機器を登録する」をタップします。

- 2 「MusicCast CONTROLLER」の画面表示にしたがって、本機のフロントパネルにある CONNECT を 5 秒以上押し続ける。



- 3 「MusicCast CONTROLLER」の画面表示にしたがって、MusicCast ネットワークへの接続設定をする。

これで MusicCast ネットワークへの登録と無線ネットワークの接続設定は完了です。

「MusicCast CONTROLLER」を操作して、音楽を再生できます。

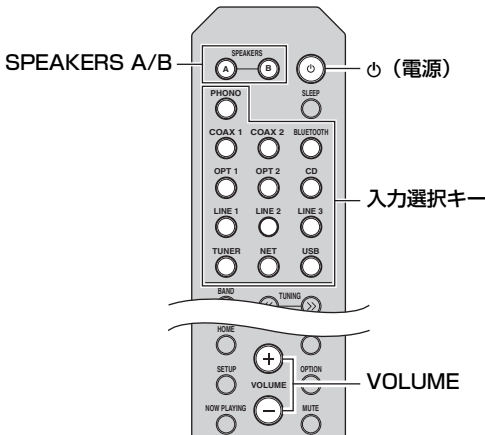
メモ

- ・AirPlay の音声および DSD 音声は、本機でのみ再生が可能です。
- ・PURE DIRECT（27 ページ）使用時は、ネットワーク（インターネットラジオなど）、Bluetooth 機器および USB 機器の音声のみ共有できます。

再生する

再生

入力ソースを選んで再生する



- 1 入力選択キーを押して、入力ソースを選択する。
- 2 **SPEAKERS A/B** を押して、再生するスピーカーを選択する。
選択したスピーカーが有効になります。選択したスピーカーはフロントディスプレイで確認できます (12 ページ)。

メモ

- ・ バイワイヤリング接続をする場合や、2 組 (A と B) のスピーカーを同時に使用する場合は、**SPEAKERS A/B** を押して、両方のスピーカーをオン (「A」と「B」が点灯) にしてください。
- ・ ヘッドホンを接続した場合、スピーカーから音声は出力されません。

- 3 再生機器を操作して再生を開始する。
- 4 リモコンの **VOLUME + / -** を押して、音量を調節する。

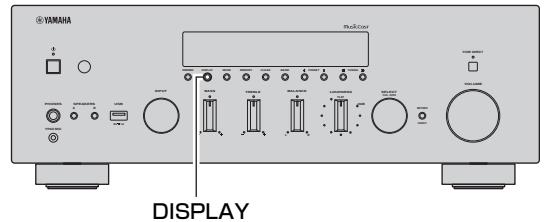
メモ

必要に応じて、フロントパネルの **BASS**、**TREBLE**、**BALANCE**、**LOUDNESS** の各コントロールまたは **PURE DIRECT** スイッチでお好みの音に調節できます。

- 5 使用後は、フロントパネルの **φ (電源)** を押して本機の電源をオフにする。
リモコンの **φ (電源)** を押すと本機の電源をスタンバイに切り替ええます。

フロントディスプレイの表示を切り替える

入力が「Bluetooth」、「NET」または「USB」のときは、フロントディスプレイに表示される再生情報を切り替えることができます。



- 1 **DISPLAY** を押す。
キーを押すたびに表示される情報が切り替わります。



3 秒経過すると、選択した情報が表示されます。



入力ソース	項目
Bluetooth	Track (曲名)、 Artist (アーティスト)、 Album (アルバム名)
Server AirPlay USB	Track (曲名)、 Artist (アーティスト)、 Album (アルバム名)、 Time (時間)
Net Radio	Track (曲名)、 Album (アルバム名)、 Time (時間)、Station (放送局名)

メモ

前面ディスプレイに表示される文字は英数字のみです。漢字やひらがな、カタカナ、特殊記号は表示されません。表示できない文字は、「_」で表示されます。

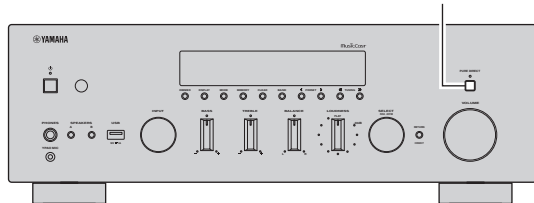
フロントパネルの操作

■ 高品質で再生する (PURE DIRECT)

PURE DIRECT スイッチをオンにすると、音声入力信号が使用していない機能の回路をバイパスし、その回路への電源供給を停止することでノイズを低減します。そのため、すべての入力ソースにおいて、ストレートで高音質な音楽再生を楽しむことができます。

PURE DIRECT スイッチがオンのとき、インジケータが点灯します。

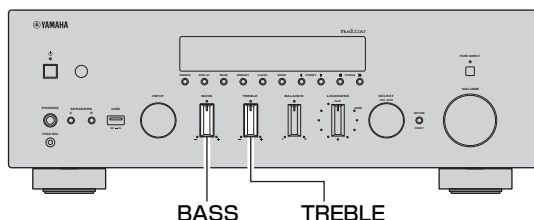
PURE DIRECT スイッチ



メモ

- ・ PURE DIRECT スイッチをオンにすると、フロントディスプレイが消灯します。
- ・ PURE DIRECT スイッチがオンのときは BASS、TREBLE、BALANCE、LOUDNESS の各調節機能、YPAO で調整したスピーカー設定や YPAO ボリューム機能は無効になります。

■ 高音/低音を調節する (BASS/TREBLE)



BASS/TREBLE コントロールを調節すると、高音域と低音域の特性を調節できます。中央に合わせたとき、標準的な特性になります。

BASS コントロール

低音域が弱いと感じるときは右側に回して低音を増幅できます。強すぎると感じるときは左側に回して低音を減衰させます。

設定範囲：- 10dB ~ 0 ~ +10dB (20Hz)

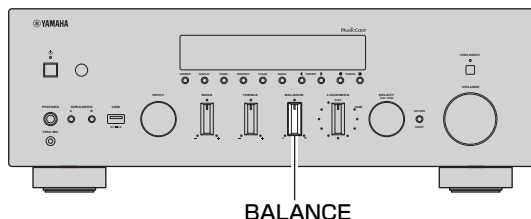
TREBLE コントロール

高音域が弱いと感じるときは右側に回して高音を増幅できます。強すぎると感じるときは左側に回して高音を減衰させます。

設定範囲：- 10dB ~ 0 ~ +10dB (20kHz)

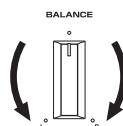


■ 左右の音量バランスを調節する (BALANCE)



BALANCE

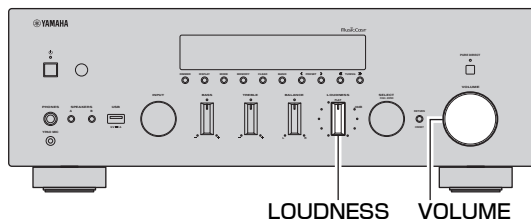
BALANCE コントロールを調節すると、左右のスピーカーの音量バランスを調節してスピーカーの位置や室内の条件による音のアンバランスを補正できます。



メモ

BALANCE コントロールを左チャンネル (L) または右チャンネル (R) の終端まで回すと、反対側のチャンネルは消音します。

■ 小さい音量でも低音と高音を聴きやすくする (LOUDNESS)



LOUDNESS VOLUME

中音域の音量を下げ、音量が小さいときに低音と高音が聴こえにくくなる人間の聴感特性を補うことで、小さい音量でも自然な音を楽しむことができます。

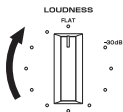
メモ

YPAO ボリューム機能 (51 ページ) を有効にしている場合、LOUDNESS の調節はできません。

⚠ 注意

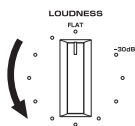
LOUDNESS を調節した後で PURE DIRECT スイッチをオンにした場合、入力信号は LOUDNESS 調節機能をバイパスするため、音量が急に大きくなります。耳やスピーカーをダメージから守るため、PURE DIRECT スイッチを押す前に LOUDNESS の状態を必ず確認し、中央の位置以外に設定されている場合は音量を下げるなどの処置をしてください。

1 LOUDNESS コントロールを中央の位置にする。



2 フロントパネルの VOLUME コントロールを回して（またはリモコンの VOLUME + / - を押して）、普段音楽をお聴きになるときの最大の音量まで上げる。

3 適度な音量になるまで、LOUDNESS コントロールを反時計回りに回す。

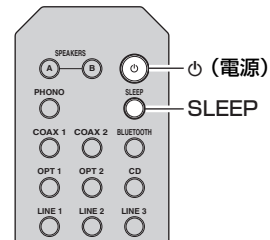


メモ

設定後にお好みの音量で再生した際、LOUDNESS コントロールの効果が強すぎる（または弱すぎる）ときは再度調整を行ってください。

スリープタイマーを使う

スリープタイマーを使うと、時間を設定して本機を自動的にスタンバイに切り替えることができます。就寝時などに使うと便利です。



メモ

スリープタイマーはリモコンでのみ設定できます。

1 SLEEP を繰り返し押して、スタンバイになるまでの時間を設定する。

SLEEP を押すたびに、フロントディスプレイの表示が次のように替わります。



スリープタイマーの設定中はフロントディスプレイのインジケータが点滅します。



スリープタイマーがセットされると、インジケータが点灯します。

メモ

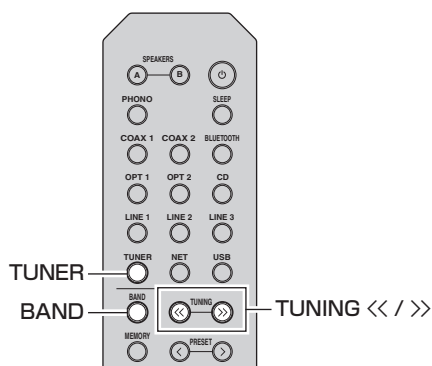
- ・スリープタイマーをキャンセルするには「Sleep Off」を選択します。
- ・⏻（電源）を押して本機の電源をオフ（スタンバイ）にすると、スリープタイマーの設定はキャンセルされます。

FM/AMラジオを聴く

メモ

本機は FM 補完放送（ワイド FM）に対応しています。

周波数を指定して選局する



- 1 TUNERを押してチューナー入力に切り替える。
- 2 BANDを繰り返し押してFM/AMを切り替える。
- 3 TUNING <>/>を押して周波数を切り替える。
TUNING <>/>を1秒間押し続けると、自動で選局します。

放送局を受信すると TUNED インジケーターが点灯します。ステレオで受信している場合は STEREO インジケーターも点灯します。



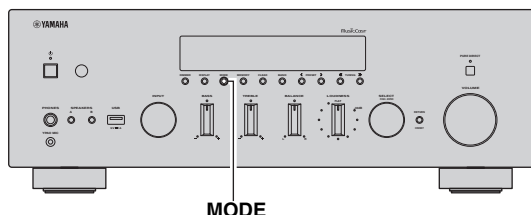
周波数

メモ

- ・周波数のサーチが止まらない場合は受信電波が弱い可能性があります。
- ・FM ラジオの受信が安定しない場合は、FM モードを「Mono」に切り替えると安定することがあります。

FM ラジオの受信を安定させる (FM モード)

電波が弱く FM ラジオの受信が安定しない場合は、FM モードをモノラル受信にすると受信が安定することがあります。



- 1 放送局の受信中に MODE を繰り返し押して、FM モード (Stereo または Mono) を選ぶ。
「Mono」を選択すると、音声がモノラルになります。

メモ

放送局をステレオで受信している時はフロントディスプレイの STEREO インジケーターが点灯します。

お気に入りのラジオ局を登録する (プリセット)

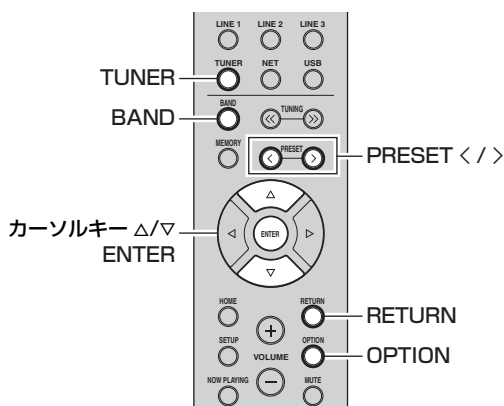
最大 40 局のラジオ局を登録できます。登録したラジオ局は、プリセット番号を選ぶだけで簡単に呼び出せます。

信号の強い FM ラジオ局は自動で登録することができます (オートプリセット)。AM ラジオ局や信号の弱い FM ラジオ局を登録する場合は、手動で登録してください (30 ページ)。

FM ラジオ局を自動で登録する (オートプリセット)

メモ

- ・すでに登録されている放送局がある場合、オートプリセットを実行すると設定が上書きされることがあります。
- ・登録したい放送局の電波が安定せず自動で登録されない場合は、手動で登録してください。
- ・オートプリセットを使って登録された放送局はステレオで受信できます。



- 1 TUNERを押してチューナー入力に切り替える。
- 2 OPTIONを押す。
オプションメニュー（47 ページ）が表示されます。
- 3 カーソルキー（△/▽）で「Auto Preset」を選び、ENTERを押す。



プリセット番号 周波数

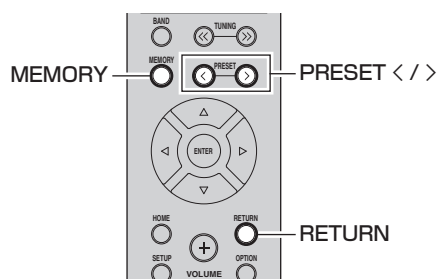
5 秒後にオートプリセットが始まります。すぐにオートプリセットを始める場合は、再度 ENTER を押します。

メモ

- ・最初に登録するプリセット番号を指定する場合は、手順 3 を実行後（「READY」が表示中）5 秒以内に PRESET </> またはカーソルキー（△/▽）でプリセット番号を選び、ENTER を押します（または 5 秒間待ちます）。
- ・オートプリセットを中止するには、BAND または RETURN を押します。

オートプリセットが終わると「FINISH」と表示され、オプションメニューが自動的に終了します。

ラジオ局を手動で登録する



- 1 「周波数を指定して選局する」（29 ページ）の手順で、登録したいラジオ局を受信する。

- 2 MEMORY を押す。

メモ

MEMORY を 3 秒以上押し続けると、自動的に空き番号に登録され、手順 3 以降を省略できます。初回はプリセット番号「01」に、2 回目以降は前回登録したプリセット番号の次の空き番号に登録されます。

- 3 PRESET </> で登録先のプリセット番号を選ぶ。

現在ラジオ局が登録されていないプリセット番号を選ぶと、「Empty」と表示されます。



「Empty」（空き）または現在登録されている周波数

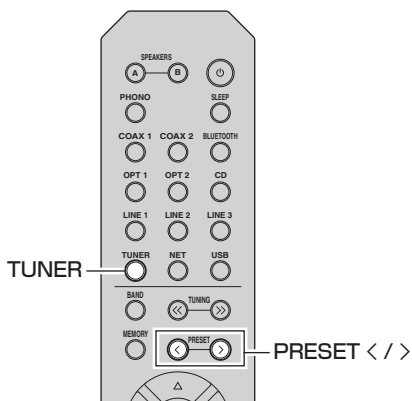
- 4 登録するには、もう一度 MEMORY を押す。
登録が終わると、元の表示に戻ります。

メモ

登録をキャンセルするには、手順の途中で RETURN を押します。

■ 登録したラジオ局を呼び出す

プリセット番号に登録されているラジオ局（プリセット局）の中から、聴きたいラジオ局を選びます。



- 1 TUNERを押してチューナー入力に切り替える。
- 2 PRESET </>を押してプリセット番号を選ぶ。

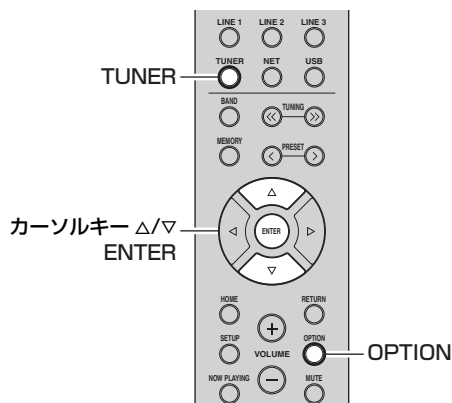
メモ

- ・登録されていないプリセット番号はスキップされます。
- ・ラジオ局が1つも登録されていない場合は、「No Presets」と表示されます。

■ ラジオ局の登録を解除する

プリセット番号に登録されているラジオ局（プリセット局）の登録を解除します。

リモコン操作



- 1 TUNERを押してチューナー入力に切り替える。
- 2 OPTIONを押す。
- 3 カーソルキー（△/▽）で「Clear Preset」を選び、ENTERを押す。



- 4 カーソルキー（△/▽）で登録を解除するプリセット番号を選び、ENTERを押す。



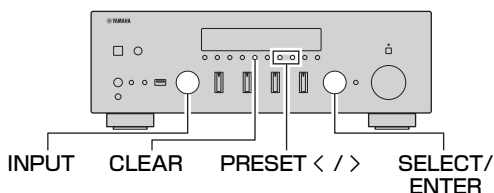
登録を解除するプリセット番号

登録が解除されると「Cleared」と表示され、次に登録されているプリセット番号が表示されます。



- 5 別のプリセット番号の登録を解除するには、手順4を繰り返す。
- 6 終了するには、OPTIONを押す。

フロントパネル操作



- 1 INPUTセレクターを回して、チューナー入力に切り替える。
- 2 CLEARを押す。
- 3 PRESET </>で登録を解除するプリセット番号を選び、CLEARを押す。



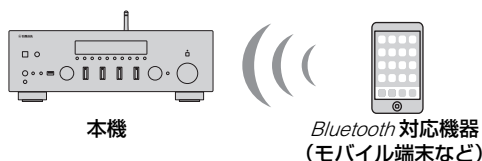
登録を解除するプリセット番号

登録が解除されると「Cleared」と表示されます。



Bluetooth 対応機器を再生する

モバイル端末などの Bluetooth 対応機器に保存されている音楽ファイルを本機で再生します。お使いの Bluetooth 機器の取扱説明書もあわせてご覧ください。

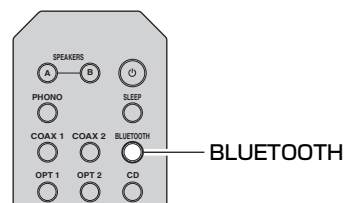


メモ

- ・ Bluetooth 機能を使用するには設定メニューの「Bluetooth」(50 ページ)を「On」(初期値)に設定する必要があります。
- ・ 使用する Bluetooth 対応機器によっては、本機を認識できなかったり、一部の機能が使用できないことがあります。
- ・ モバイル端末専用アプリ「MusicCast CONTROLLER」(25 ページ)を使用すると、本機の音声をヘッドホンやスピーカーなどの Bluetooth 対応機器へ送信できます。送信先は MusicCast CONTROLLER を使って選択してください。

Bluetooth 機器を接続する (ペアリング)

Bluetooth 機器を初めて本機に接続する場合は、ペアリングが必要になります。ペアリングとは Bluetooth 機器同士をあらかじめ登録することです。一度ペアリングすると、Bluetooth 接続を切断してもそれ以降は簡単に再接続できます。



- 1 BLUETOOTH を押して入力を「Bluetooth」に切り替える。**
すでに他の Bluetooth 機器と接続している場合は、ペアリングの前に Bluetooth 機器の接続を解除してください。
- 2 Bluetooth 機器側の Bluetooth 機能をオンにする。**
- 3 Bluetooth 機器側で Bluetooth 機器の接続リストが表示されたら、リストから本機 (ネットワーク名) を選ぶ。**
ペアリングが完了すると、フロントディスプレイに「Connected」と表示され、Bluetooth インジケータが点灯します。



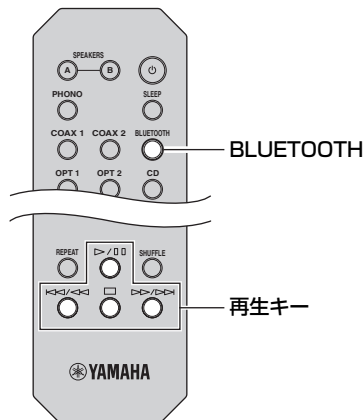
メモ

- ・ パスキー (PIN) の入力要求されたら、数字の「0000」を入力します。
- ・ Bluetooth 機器に表示される本機のネットワーク名は、設定メニューの「Network Name」(50 ページ)で変更できます。

Bluetooth機器の曲を再生する

Bluetooth機器を接続して曲を再生します。あらかじめ次のことを確認してください。

- ・ペアリングが完了している。
- ・Bluetooth機器のBluetooth機能がオンになっている。



- 1 **BLUETOOTH** を押して入力を「Bluetooth」に切り替える。

メモ

以前に Bluetooth 機器を接続していた場合、入力を切り替えると、直前に接続していた機器に自動で接続されます。他の Bluetooth 機器と接続したい場合は、Bluetooth 機器の接続を解除してください。

- 2 **Bluetooth 機器側を操作して、Bluetooth 機器を接続する。**

お使いの機器の Bluetooth 機器の接続リストから本機を選びます。接続が完了すると、フロントパネルの Bluetooth インジケータが点灯します。

メモ

Bluetooth 機器と接続できない場合は、もう一度ペアリングを行ってください。

- 3 **Bluetooth 機器を操作して曲を再生する。**

メモ

再生中は、リモコンの再生キーで Bluetooth 機器の再生操作が行えます。

Bluetooth機器との接続を切断する

Bluetooth 機器との接続を切断するには、次のいずれかの操作を行います。

- ・ Bluetooth 機器側で切断操作をする。
- ・ リモコンの BLUETOOTH を 3 秒以上押す。
- ・ 本機の入力を「Bluetooth」以外にする。

Bluetooth について

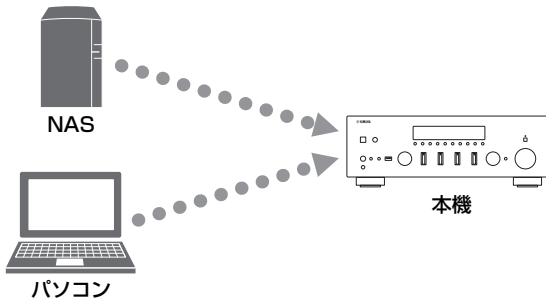
Bluetooth とは、2.4 GHz 帯の電波を利用して、対応する機器と無線で通信を行うことができる技術です。

Bluetooth 通信の取り扱いについて

- ・ Bluetooth 対応機器が使用する 2.4 GHz 帯は、さまざまな機器が共有する周波数帯です。Bluetooth 対応機器は同じ周波数帯を使用する機器からの影響を最小限に抑えるための技術を採用していますが、他の機器の影響によって通信速度や通信距離が低下することや、通信が切断されることがあります。
- ・ 通信機器間の距離や障害物、電波状況、機器の種類により、通信速度や通信距離は異なります。
- ・ 本書はすべての Bluetooth 対応機器との無線接続を保証するものではありません。

パソコン（サーバー）の曲を再生する

パソコンや DLNA 対応のネットワーク接続ストレージサーバー（NAS）に保存されている音楽ファイルを本機で再生します。



メモ

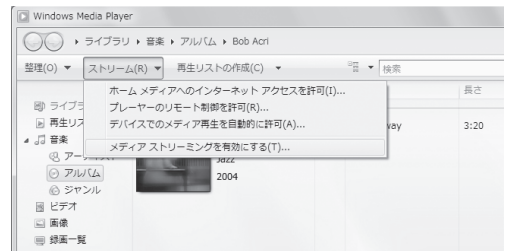
- ・この機能を使用するには、本機とパソコン（サーバー）が同じルーターに接続されている必要があります（19 ページ）。設定メニューの「Information」（49 ページ）で、ネットワーク情報（IP アドレス）が正しく取得されていることを確認できます。
- ・音楽ファイルを再生するには、パソコン（サーバー）にインストールされているサーバーソフトが、再生したい音楽ファイルのフォーマットに対応している必要があります。
- ・無線で接続しているときは音声が中断することがあります。その場合は有線で接続してください。
- ・本機には、最大で 16 台のパソコン（サーバー）が接続できます。
- ・対応ファイルについては「対応ファイル形式」（61 ページ）を参照してください。

パソコン内の音楽ファイルを共有する

パソコン内の音楽ファイルを再生するには、本機とパソコン（Windows Media Player 12 以降）で音楽ファイルを共有する設定が必要です。詳しくは Windows Media Player のヘルプをご覧ください。

■ Windows Media Player 12 を使う場合

- 1 パソコンで Windows Media Player 12 を起動する。
- 2 メニューバーの「ストリーム」から、「メディアストリーミングを有効にする」を選ぶ。

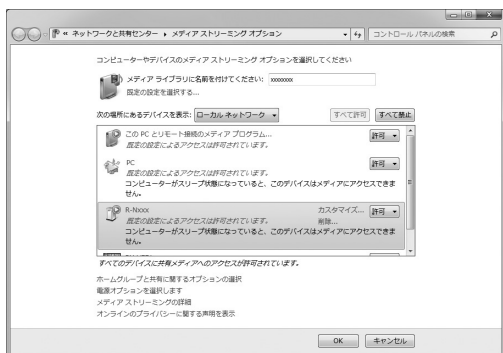


パソコンのコントロールパネル画面が表示されます。

- 3 「メディアストリーミングを有効にする」をクリックする。



- 4 機器名の右側のドロップダウン・リストで「許可」を選ぶ。



- 5 手順4と同様に、メディアコントローラーとして使いたい機器（ほかのパソコンやモバイル端末）のアイコンを選んで「許可」をクリックする。

- 6 「OK」をクリックして設定を終了する。

■ Windows Media Player以外のDLNAサーバーソフトがインストールされているパソコン（サーバー）

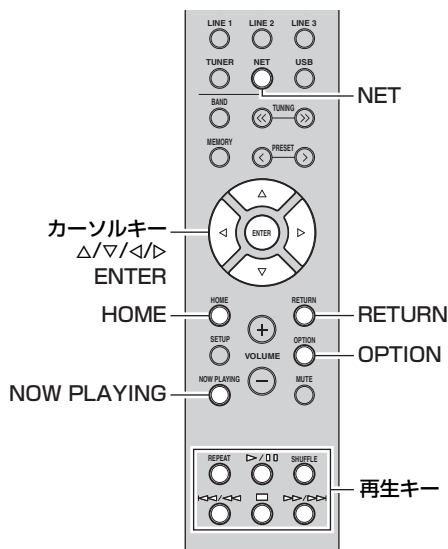
各機器またはソフトウェアの取扱説明書を参照してメディアの共有設定を行ってください。

パソコン（サーバー）の曲を選ぶ

パソコン（サーバー）の曲を選んで、再生を始めます。

メモ

日本語のコンテンツ表示には対応していません。表示できない文字は、「_」（アンダーバー）で表示されます。



- 1 NET を繰り返し押して、入力を「Server」に切り替える。



- 2 カーソルキー（△/▽）でパソコン（サーバー）を選び、ENTER を押して確定する。

- 3 カーソルキーでコンテンツを選び、ENTER を押して確定する。

曲を選ぶと再生が始まり、再生情報が表示されます。



メモ

- ・再生中の曲は本機に登録（プリセット）できます（42ページ）。
- ・フロントパネルの DISPLAY を繰り返し押すと、表示される再生情報を切り替えることができます（26 ページ）。

リモコンの以下のキーを使って再生操作が行えます。

使用できるリモコンキー		機能
カーソルキー		音楽ファイルやフォルダを選択します。
ENTER		コンテンツ選択時に押すと再生を開始します。フォルダの選択時に押すと 1 つ下の階層に移動します。
RETURN		1 つ上の階層に移動します。
再生キー	▷/⏏	再生 / 一時停止します。
	□	再生を停止します。
	◀◀ / ◀◀	再生中の曲の先頭（連続で押すと前の曲） / 次の曲にスキップします。
	▶▶ / ▶▶	
HOME		パソコン（サーバー）の一番上の階層に移動します。
NOW PLAYING		再生している曲の再生情報を表示します。

メモ

DLNA 対応のデジタルメディアコントローラー (DMC) から再生を操作できます。詳しくは設定メニューの「DMC Control」(50 ページ) をご覧ください。

■ リピート再生/シャッフル再生

パソコン（サーバー）のリピート再生およびシャッフル再生を設定します。

- 1 入力に「Server」が選ばれている状態で、再生キーの REPEAT または SHUFFLE を押して再生方法を選ぶ。

再生キー	設定	機能
REPEAT	Off	リピート再生を無効にします。
	One	現在の曲を繰り返し再生します。
	All	アルバム（フォルダー）内の曲を繰り返し再生します。
SHUFFLE	Off	シャッフル再生を無効にします。
	On	アルバム（フォルダー）内の曲をランダムに再生します。

■ 自動再生設定

本機の電源をオンにしたときや入力を「Server」に切り替えたときに、パソコン（サーバー）の曲を自動的に再生させるかどうかを設定します。

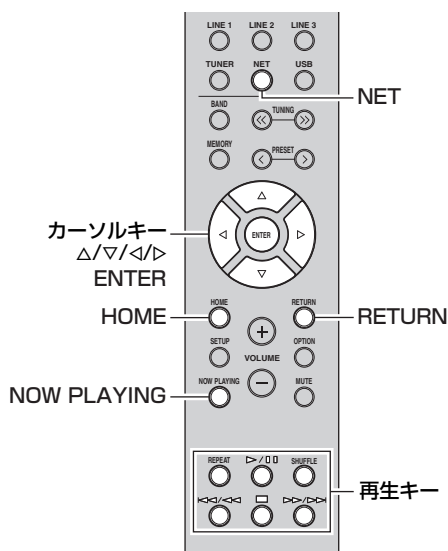
- 1 入力に「Server」が選ばれている状態で、OPTION を押す。
- 2 カーソルキー（△/▽）で「Auto Playback」を選び、ENTER を押す。
- 3 カーソルキー（◀/▶）で「On」（有効）または「Off」（無効）を選ぶ。
- 4 終了するには、OPTION を押す。

インターネットラジオを聴く

インターネット上で配信されている世界中のインターネットラジオを本機で聴くことができます。

メモ

- ・この機能を使用するには、本機がインターネットに接続されている必要があります（19 ページ）。設定メニューの「Information」（49 ページ）で、ネットワーク情報（IP アドレス）が正しく取得されていることを確認できます。
- ・インターネットラジオ局や時間帯によっては、受信できないことがあります。
- ・この機能は、airable.Radio のサービスを利用します。
- ・本サービスは事前の通知なく中止される場合があります。



- 1 **NET を繰り返し押して、入力を「Net Radio」に切り替える。**
フロントディスプレイにインターネットラジオ局のリストが表示されます。



- 2 **カーソルキーでコンテンツを選び、ENTER を押して確定する。**

インターネットラジオ局を選ぶと再生が始まり、再生情報が表示されます。



リモコンの以下のキーを使って再生操作が行えます。

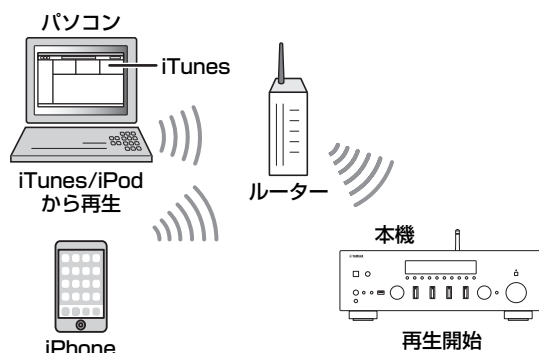
使用できるリモコンキー		機能
カーソルキー		インターネットラジオ局やジャンルなどのカテゴリーを選択します。
ENTER		インターネットラジオ局の選択時に押すと再生を開始します。カテゴリーの選択時に押すと 1 つ下の階層に移動します。
RETURN		1 つ上の階層に移動します。
再生キー		再生を停止します。
HOME		カテゴリー選択の一番上の階層を表示します。
NOW PLAYING		インターネットラジオ局の再生情報を表示します。

メモ

- ・再生中のインターネットラジオ局を本機に登録（プリセット）できます（42 ページ）。
- ・フロントパネルの DISPLAY を繰り返し押すと、表示される再生情報を切り替えることができます（26 ページ）。
- ・放送局によっては一部の情報を表示できないことがあります。

AirPlayで音楽を聴く

AirPlay 機能を使って、iTunes や iPhone の音楽ファイルをネットワーク経由で再生します。



メモ

この機能を使用するには、本機とパソコンや iPhone が同じルーターに接続されている必要があります(19 ページ)。

AirPlay は iOS 4.3.3 以降を搭載した iPhone、iPad、iPod touch、OS X Mountain Lion 以降を搭載した Mac、iTunes 10.2.2 以降を搭載した Mac と PC において動作します (2017 年 6 月現在)。

iTunes/iPhoneで曲を再生する

本機と iTunes/iPhone を操作して再生を始めます。

- 1 本機の電源を入れ、iTunes を起動する、または iPhone の音楽再生画面を表示する。
iTunes/iPhone が本機を認識すると AirPlay アイコンが表示されます。

iOS 10 (表示例)



iTunes (表示例)



メモ

アイコンが表示されない場合は、本機とパソコンや iPhone が正しくルーターに接続されているか確認してください。

- 2 iTunes/iPhone で AirPlay アイコンをクリック (タップ) し、音声の出力先として本機 (ネットワーク名) を選ぶ。

3 iTunes/iPhone を操作して曲を再生する。

本機の入力が自動的に「AirPlay」に切り替わり、再生が始まります。

メモ

- ・フロントパネルの DISPLAY を繰り返し押すと、表示される再生情報を切り替えることができます (26 ページ)。
- ・設定メニューの「Standby (Network Standby)」(50 ページ) を「On」または「Auto」に設定時は、iTunes/iPhone で再生を始めると本機の電源が自動的に入ります。
- ・iTunes/iPhone に表示される本機のネットワーク名は、設定メニューの「Network Name」(50 ページ) で変更できます。
- ・再生中は iTunes/iPhone から本機の音量を操作できません。

注意

iTunes/iPhone で音量を調節すると、予想外に音量が大きくなり、聴覚障害や機器の損傷の原因になる場合があります。再生中に音量が大きくなってしまった場合は、すぐに iTunes/iPhone の再生を停止してください。あらかじめ、オプションメニューの「Volume Interlock」(47 ページ) で iTunes/iPhone から操作できる音量範囲を制限しておくことをおすすめします。

リモコンの以下のキーを使って再生操作が行えます。

使用できるリモコンキー	機能
▶/⏮	一時停止を解除して、再生を始めます。
□	再生を停止します。
⏮ / ⏭	再生中の曲の先頭 (連続で押すと前の曲) / 次の曲にスキップします。
⏭ / ⏮	リピート再生の設定を変更します。
REPEAT	シャッフル再生の設定を変更します。
SHUFFLE	

radiko.jpを聴く

radiko.jp でラジオ放送を受信します。モバイル端末にインストールした「MusicCast CONTROLLER」を使用して選局します。

radiko.jp は、地上波ラジオ放送を CM も含めて同時にインターネットで配信する「IP (Internet Protocol) サイマルラジオ」サービスです。放送エリアに準じた地域に配信するサービスのため、エリア（都道府県）ごとに対応している放送局が異なります。対応しているエリアや放送局については、radiko.jp のウェブサイトをご覧ください。

メモ

- ・ radiko.jp プレミアム（有料）に登録すると、全国のラジオ局を受信できます。
- ・ radiko.jp プレミアムを利用するには、radiko.jp のウェブサイトでユーザー登録し、モバイル機器にインストールした「MusicCast CONTROLLER」（25 ページ）からログイン名とパスワードを入力してください。
- ・ 選局する前に、本機を MusicCast ネットワークに登録してください（25 ページ）。

- 1 「MusicCast CONTROLLER」で本機のルーム（Room1 など）を選ぶ。
- 2 「radiko.jp」をタップする。
- 3 地域を選んで、ラジオ局を選ぶ。

Spotifyの曲を聴く

Spotify は世界中の音楽をスピーディで快適に利用できる音楽ストリーミングサービスです。Spotify アプリをモバイル機器などにインストールすることで、Spotify アプリで再生する音楽を MusicCast 対応機器で楽しめます。

詳しくは以下のウェブサイトアクセスしてください。

www.spotify.com/connect

メモ

- ・ この機能を使用するには、本機とモバイル機器またはタブレットが同じ無線 LAN ルーター（アクセスポイント）に接続されている必要があります。ネットワーク情報（IP アドレス）が正しく取得されているか、設定メニューの「Network」の「Information」（49 ページ）でご確認ください。
- ・ Spotify アプリ画面の表示はお使いのモバイル機器やタブレット、アプリのバージョンによって異なることがあります。また、サービスの内容は予告なく変更されることがあります。

- 1 App Store または Google Play で「Spotify」を検索し、Spotify アプリをモバイル機器またはタブレットにインストールする。
- 2 Spotify アプリ内で Spotify Premium アカウント（有料）に登録する。
Premium アカウントに登録すると、無料トライアルサービスをお使いいただけます。
Premium アカウントに登録しない場合は、Bluetooth 機器または AirPlay のシャッフル再生のみ利用できます。
- 3 Spotify アプリで曲を再生する。
- 4 再生バーをタップする。
- 5 「接続可能なデバイス」から本機（ネットワーク名）を選択する。

メモ

本機のネットワーク名は、設定メニューの「Network Name」（50 ページ）で変更できます。

USB機器の曲を再生する

USB 機器に保存されている音楽ファイルを本機で再生します。お使いの USB 機器の取扱説明書もあわせてご覧ください。

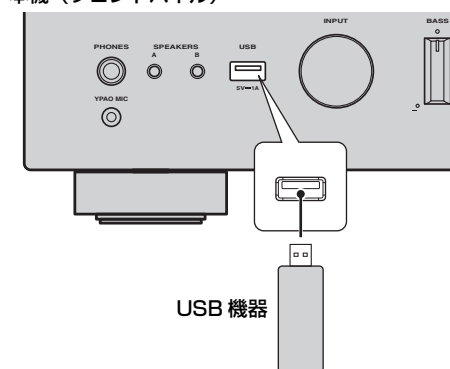
メモ

- ・ USB マスストレージクラス以外の機器（USB チャージャー、USB ハブなど）、パソコン、カードリーダー、外付けハードディスクを接続しないでください。
- ・ USB 機器のメーカーや種類により、USB 機器が本機に認識されない場合や一部の機能が使えない場合があります。
- ・ 対応している USB 機器とファイル形式については「サポートしている機器 / ファイル形式」（61 ページ）を参照してください。

USB 機器を接続する

1 USB 機器を USB 端子に接続する。

本機（フロントパネル）



メモ

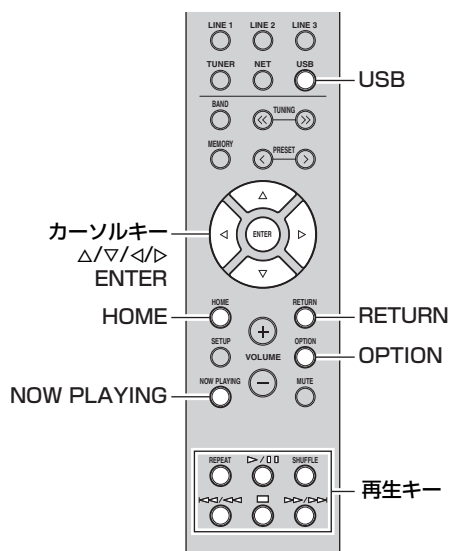
- ・ ファイル数が多いと読み込みに時間がかかることがあります。この場合、フロントディスプレイに「Loading...」と表示されます。
- ・ USB 機器は再生を停止させてから取り外してください。
- ・ USB 機器は直接本機の USB 端子に接続してください。延長ケーブルなどは使わないでください。
- ・ パソコンは本機の USB 端子に接続できません。
- ・ 本機の電源がスタンバイのときは、USB 機器への充電はできません。

USB 機器の曲を選ぶ

USB 機器の曲を選んで、再生を始めます。

メモ

日本語のコンテンツ表示には対応していません。表示できない文字は、「_」（アンダーバー）で表示されます。



1 USB を押して入力を「USB」に切り替える。



- 2 カーソルキーでコンテンツを選び、ENTER を押して確定する。
曲を選ぶと再生が始まり、再生情報が表示されます。



メモ

- ・フロントパネルの DISPLAY を繰り返し押すと、表示される再生情報を切り替えられます (26 ページ)。
- ・再生中の曲は本機に登録 (プリセット) できます (42 ページ)。

リモコンの以下のキーを使って再生操作が行えます。

使用できるリモコンキー		機能
カーソルキー		音楽ファイルやフォルダを選択します。
ENTER		音楽ファイルの選択時に押すと再生を開始します。フォルダの選択時に押すと 1 つ下の階層に移動します。
RETURN		1 つ上の階層に移動します。
再生キー	▷/⏸	再生 / 一時停止します。
	□	再生を停止します。
	◀◀ / ◀▶	再生中の曲の先頭 (連続で押すと前の曲) / 次の曲にスキップします。
	▶▶ / ▶▶	
HOME		USB機器の一番上の階層に移動します。
NOW PLAYING		再生している曲の再生情報を表示します。

■ リピート再生/シャッフル再生

USB 機器のリピート再生およびシャッフル再生を設定します。

- 1 入力に「USB」が選ばれている状態で、再生キーの REPEAT または SHUFFLE を押して再生方法を選ぶ。

再生キー	設定	機能
REPEAT	Off	リピート再生を無効にします。
	One	現在の曲を繰り返し再生します。
	All	アルバム (フォルダー) 内の曲を繰り返し再生します。
SHUFFLE	Off	シャッフル再生を無効にします。
	On	アルバム単位でランダムに再生します。

■ 自動再生設定

本機の電源をオンにしたときや入力を「USB」に切り替えたときに、USB 機器の曲を自動的に再生させるかどうかを設定します。

- 1 入力に「USB」が選ばれている状態で、OPTION を押す。
- 2 カーソルキー (△/▽) で「Auto Playback」を選び、ENTER を押す。
- 3 カーソルキー (◀/▶) で「On」(有効) または「Off」(無効) を選ぶ。
- 4 終了するには、OPTION を押す。

再生中の曲/放送局を登録する（プリセット機能）

ネットワーク入力または USB 入力の選択時は、再生している曲やインターネットラジオ局を最大 40 種類まで登録できます。

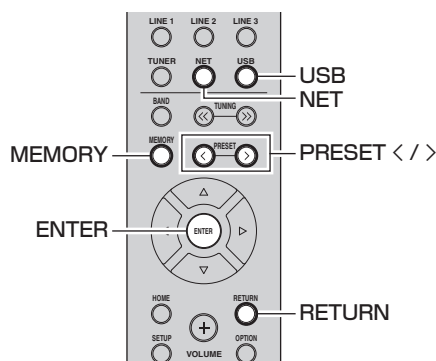
登録された曲 / 放送局はプリセット番号を指定して簡単に呼び出すことができます。

プリセット可能な入力ソース：

Server、USB、Net Radio、radiko.jp、Spotify

メモ

- ・「MusicCast CONTROLLER」(25 ページ) でも曲や放送局を登録できます。
- ・パソコンや USB 機器の曲を登録した場合、本機は音楽ファイルのフォルダー内における相対的な位置を記憶します。そのため、フォルダー内の音楽ファイルを追加 / 削除すると、登録した曲が呼び出されることがあります。その場合は、目的の曲を登録し直してください。



登録した曲/放送局を呼び出す

- 1 NET または USB を押して、目的の入力ソースを選ぶ。
- 2 PRESET </> でプリセット番号を選ぶ。
- 3 ENTER を押して呼び出しを実行する。

メモ

- ・プリセット番号に登録されている曲/放送曲が再生されるまで数秒間かかる場合があります。
- ・呼び出しをキャンセルするには、手順の途中で RETURN を押します。
- ・「MusicCast CONTROLLER」(25 ページ) でも登録した曲や放送局を呼び出せます。

曲/放送局の登録を解除する

- 1 NET または USB を押して、目的の入力ソースを選ぶ。
- 2 PRESET </> で登録を解除するプリセット番号を選ぶ。
- 3 フロントパネルの CLEAR を押す。
登録が解除されると「Empty」と表示されます。

曲/放送局を登録する

- 1 登録したい曲またはインターネットラジオ局を再生する。
- 2 MEMORY を押す。

メモ

MEMORY を 3 秒以上押し続けると、自動的に空き番号に登録され、手順 3 以降を省略できます。初回はプリセット番号「01」に、2 回目以降は前回登録したプリセット番号の次の空き番号に登録されます。

- 3 PRESET </> で登録先のプリセット番号を選ぶ。
現在何も登録されていないプリセット番号を選ぶと、「Empty」と表示されます。
- 4 登録するには、もう一度 MEMORY を押す。
登録が終わると、元の表示に戻ります。

メモ

登録をキャンセルするには、手順の途中で RETURN を押します。

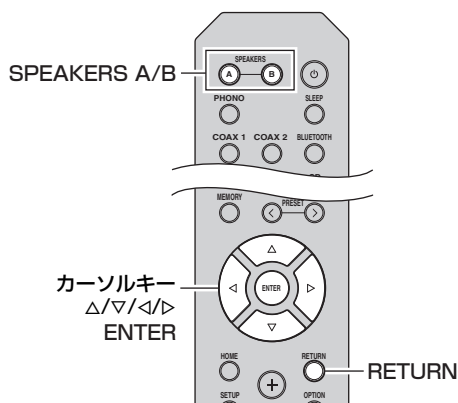
設定する


スピーカー設定を自動で調整する (YPAO)

付属の YPAO 用マイクを使って、スピーカーの接続や視聴位置との距離を検出し、音量バランスや音色などのスピーカー設定を自動で調整します (YPAO : Yamaha Parametric room Acoustic Optimizer)。

メモ

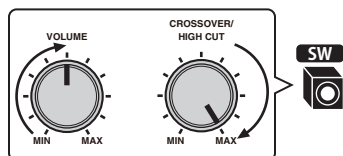
- ・本機の YPAO は、YPAO-R.S.C. (Reflected Sound Control) 技術を採用しています。これにより、音響専用に施工された部屋のような自然な音場を創り出すことができます。
- ・YPAO 使用時は次のことにご注意ください。
 - 測定中は大きな音が出力されます。小さなお子様がいらっしゃる場合は十分に配慮ください。
 - 測定中は本体やリモコンの操作をしないでください。
 - 測定中は部屋を静かに保ってください。
 - 測定中は視聴位置の後方 (部屋の隅) にとどまり、スピーカーと YPAO 用マイクの間を遮らないようにしてください。
 - ヘッドホンは接続しないでください。



1 フロントパネルの  (電源) を押して本機の電源をオンにする。

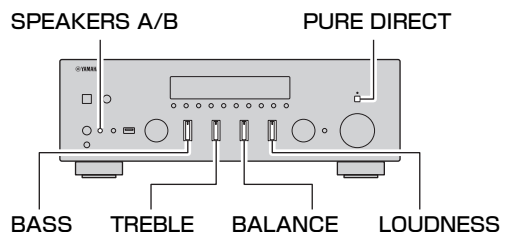
2 サブウーファの電源を入れ、音量を半分に調節する。

クロスオーバー周波数を調節できる場合は最大にする。



3 以下の操作を行う。

- ・フロントパネルまたはリモコンの SPEAKERS A/B を押して、使用するスピーカーを選択する。
- ・フロントパネルの BASS コントロールと TREBLE コントロールを 0 (中央の位置) にする。
- ・フロントパネルの BALANCE コントロールを中央の位置にする。
- ・フロントパネルの LOUDNESS コントロールを FLAT (中央の位置) にする。
- ・PURE DIRECT がオンになっている場合は、フロントパネルの PURE DIRECT を押してオフにする。



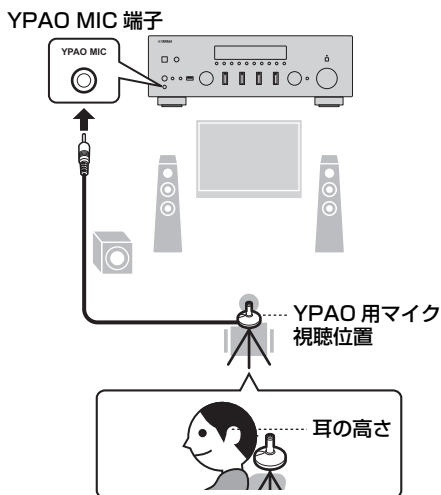
メモ

- ・使用するスピーカー (A、B、A+B) に応じて、スピーカー設定が個別に保存されます。
- ・スピーカー (A+B) の測定は、バイワイヤリング接続を使用している場合のみ実行してください。A/B に別のスピーカーを接続している場合は、測定が正常にできません。

- 4 付属の YPAO 用マイクを視聴位置に置き、フロントパネルの YPAO MIC 端子に接続する。

メモ

YPAO 用マイクを視聴位置（耳の高さ）に置きます。三脚などをマイクスタンドとしてお使いください。三脚のネジを使ってマイクを固定できます。



フロントパネルディスプレイに次のメッセージが表示されます。

```
YPAO
[ENTER]:Start
```

メモ

操作を中止するには、測定前に YPAO 用マイクを取り外します。

- 5 測定を始めるには、ENTER を押す。

10 秒後に測定が始まります。測定に必要な時間は約 1 分です。

メモ

操作を中止するには、RETURN を押します。その後、エラーメッセージ（45 ページ）の操作を実行してください。

測定が終了すると、フロントパネルディスプレイに「Result Info.」と表示されます。

```
YPAO ( A )
Result Info.
```

メモ

測定中にエラーが生じた場合は「Error Info.」と表示されます。カーソルキー（▷）を押してエラーメッセージ（45 ページ）を確認してください。

- 6 測定結果を確認するには、カーソルキー（▷）を押す。

フロントパネルディスプレイに「No Warning」と表示されていれば、測定が正しく完了しています。

```
YPAO ( A )
No Warning
```

メモ

測定結果画面に警告メッセージ（W-1 など）が表示されている場合は「警告メッセージ」（46 ページ）をご覧ください。

- 7 1 つ前の表示に戻るには、カーソルキー（◀）または RETURN を押す。

- 8 測定結果を保存するには、カーソルキー（Δ/▽）で「Save」を選び、ENTER を押す。
測定結果を保存せずに終了するには、カーソルキー（Δ/▽）で「Cancel」を選び、ENTER を押す。

```
YPAO ( A )
[ENTER]:Save
```

```
YPAO ( A )
[ENTER]:Cancel
```

メモ

設定メニューの「YPAO」（51 ページ）で、測定結果および YPAO ボリューム機能の有効 / 無効を設定できます。

- 9 YPAO 用マイクを本機から取り外す。

```
YPAO ( A )
Disconnect MIC
```

注記

YPAO 用マイクは熱に弱いので、高温になる場所（AV 機器の上など）や直射日光が当たる場所を避けて保管してください。

エラーメッセージ

測定中にエラーメッセージが表示された場合は、原因を解決してから YPAO を再度実行してください。



エラーメッセージ	原因	対策
E-1 Noisy	雑音が大きいため測定できない。	部屋が静かになってから、再測定してください。
E-2 No Signal	YPAO 用マイクがテストトーンを検出できない。	YPAO用マイクをYPAO MIC端子にしっかりと接続してから、再測定してください。このエラーが頻繁に表示される場合は、お買い上げ店またはヤマハ修理ご相談センターにお問い合わせください。
E-3 No MIC	測定中に YPAO 用マイクが外れた。	YPAO用マイクをYPAO MIC端子にしっかりと接続してから、再測定してください。
E-4 User Cancel	測定が中断された。	必要に応じて、再測定してください。
E-5 PHONES	本機の PHONES 端子にヘッドホンが接続されている。	ヘッドホンを取り外してから、再測定してください。
E-10 Internal Error	内部エラーが発生した。	YPAO を終了してから、本機の電源を入れ直してください。このエラーが頻繁に表示される場合は、お買い上げ店またはヤマハ修理ご相談センターにお問い合わせください。
E-20 No SPEAKERS	スピーカーを検出できない。	SPEAKERS A/B を押して、使用するスピーカーを選択してから再測定してください。 スピーカーを正しく選択しているのにエラーが表示される場合は、本機の電源をオフにしてから、スピーカーの接続を確認してください。
E-21 Control Knob	フロントパネルの BASS/TREBLE/BALANCE/LOUDNESS コントロールが適切な位置になっていない。	すべてのコントロールを中央の位置に合わせてから、再測定してください。
E-22 Pure Direct	Pure Direct がオンになっている。	フロントパネルの Pure Direct を押して Pure Direct をオフにしてから再測定してください。

メモ

エラーメッセージを確認後、カーソルキー（◀）で 1 つ前の表示に戻り、以下の手順を実行してください。

- 再測定を開始する：
カーソルキー（Δ/▽）で「Retry」を選び、ENTER を押す。44 ページの手順 5 へ進んでください。
- YPAO を終了する：
カーソルキー（Δ/▽）で「Exit」を選び、ENTER を押す。

警告メッセージ

測定後に警告メッセージが表示されていても、測定結果を保存できます。

ただし、最適なスピーカー設定で使用するには、原因を解決してから YPAO を再度実行することをおすすめします。



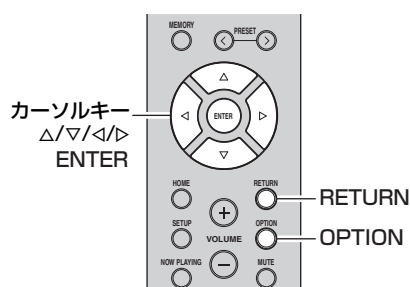
警告メッセージ	原因	対策
W-1 Out of Phase	スピーカーの極性（＋と－）が逆に接続されている可能性がある。	スピーカーのケーブル接続（＋と－）を確認してください。 間違っていて接続されている場合は、本機の電源をオフにしてから、スピーカーケーブルを接続し直してください。 スピーカーの種類や設置環境によっては、正しく接続されていてもこのメッセージが表示されることがあります。その場合は、設定を保存してそのままお使いください。（お客様への確認を促すメッセージであり、そのままお使いいただいても本機の再生に影響はありません。）
W-2 Over Distance	スピーカーと視聴位置の距離が24mを超えているため、正確に補正できない。	スピーカーを視聴位置から 24m 以内に設置してください。
W-3 Level Error	スピーカー間の音量差が大きすぎるため、正確に補正できない。	各スピーカー間の使用環境やケーブル接続（＋と－）、サブウーファーの音量が適切かどうか確認してください。なるべく同じスピーカー、または性能が似ているスピーカーをお使いください。

メモ

- ・複数の警告メッセージがある場合は、カーソルキー（△/▽）で表示を切り替えてください。
- ・警告メッセージ確認後、1 つ前の画面に戻るには、カーソルキー（◀）を押します。

再生ソースに合わせて設定する（オプションメニュー）

再生中のソースにあわせて、再生関連の機能を設定します。必要なときに簡単に設定を変更できます。



1 OPTION を押す。



2 カーソルキーで設定項目を選び、ENTER を押す。

メモ

メニュー操作中、1 つ前の画面に戻るには RETURN を押します。

3 カーソルキー（◀/▶）で設定値を選ぶ。

4 終了するには、OPTION を押す。

オプションメニュー項目

メモ

入力ソースによって設定項目は異なります。

項目	機能	ページ
Volume Trim	入力間の音量差を微調整します。	47
Signal Info.	音声信号に関する情報を確認します。	47
Auto Preset	FM ラジオ局を自動でプリセット番号に登録します。	29
Clear Preset	プリセット番号に登録されているラジオ局（プリセット局）の登録を解除します。	31
Vol.Interlock (Volume Interlock)	AirPlay 入力選択時に、本機と iTunes/iPhone の音量を連動させるかどうかを設定します。	47
Auto Playback	本機の電源をオンにしたときや入力を選択したときに、パソコン（サーバー）や USB 機器の曲を自動的に再生するかどうかを設定します。	36、41

■ Volume Trim

入力間の音量差を補正します。入力切替時に音量の増減が気になる場合は、この設定を使って調節してください。

メモ

入力ごとに設定できます。

設定値

− 10.0dB ~ 0.0dB ~ +10.0dB (0.5dB 単位)

初期値

0.0dB

■ Signal Info.

音声信号に関する情報を確認します。

選択項目

FORMAT	入力信号の音声フォーマット
SAMPLING	入力デジタル信号の 1 秒あたりのサンプル数

メモ

表示項目を切り替えるには、カーソルキー（Δ/▽）を繰り返し押します。

■ Vol.Interlock (Volume Interlock)

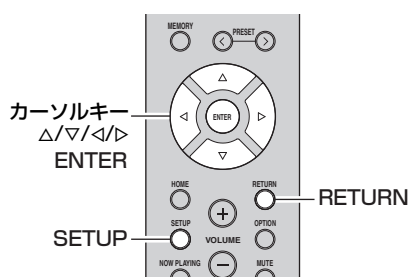
AirPlay 入力選択時に、本機と iTunes/iPhone の音量を連動させるかどうかを設定します。

設定値

Off	iTunes/iPhone からの音量操作を無効にします。
Ltd (初期値)	Mute および − 80dB ~ − 20dB の範囲で iTunes/iPhone からの音量操作を有効にします。
Full	Mute および − 80dB ~ +16.5dB の範囲で iTunes/iPhone からの音量操作を有効にします。

詳細機能を設定する（設定メニュー）

本機の詳細機能を設定します。



1 SETUP を押す。



2 カーソルキー（Δ/▽）で設定項目を選び、ENTER を押す。



3 カーソルキー（◀/▶）で設定値を選び、ENTER を押す。



メモ

メニュー操作中、1 つ前の表示に戻るには RETURN を押します。

4 終了するには、SETUP を押す。

設定メニュー項目

	項目	機能	ページ
Network	Connection	ネットワークへの接続方法を設定します。	49
	Information	本機のネットワーク情報を表示します。	49
	IP Address	ネットワーク情報（IP アドレスなど）を設定します。	49
	DMC Control	DLNA 対応のデジタルメディアコントローラー（DMC）からの操作を有効 / 無効にします。	50
	Standby (Network Standby)	ネットワーク機器から本機の電源を入れる機能（ネットワークスタンバイ）を有効 / 無効にします。	50
	Network Name	ネットワークに表示される本機の名称を設定します。	50
	Update (Network Update)	本機のファームウェアをネットワーク経由で更新します。	50
Bluetooth	On/Off	Bluetooth 機能の有効 / 無効を切り替えます。	50
	Standby (Bluetooth Standby)	Bluetooth 対応機器から本機の電源を入れる機能（Bluetooth スタンバイ）を有効 / 無効にします。	50
YPAO (Speaker A, Speaker B, Speaker A+B)	YPAO On/Off	YPAO 測定結果の有効 / 無効を切り替えます。	51
	VOL (YPAO Volume)	YPAO ボリューム機能の有効 / 無効を切り替えます。	51
Volume	Max Volume	調節可能な音量の上限値を設定します。	51
	Initial Volume	電源を入れたときの音量を設定します。	51
AutoPowerStdby (Auto Power Standby)		本機を指定時間操作しなかったときに電源を自動的にスタンバイにします。	51
ECO Mode		エコモード（消費電力の節約）を有効 / 無効にします。	51

Network

本機のネットワーク関連機能を設定します。

■ Connection

ネットワークへの接続方法を設定します。

Wired	市販のネットワークケーブルを使って、本機をネットワークに接続する場合に選択します (19 ページ)。
Wireless	無線 LAN ルーター (アクセスポイント) を経由して、本機をネットワークに接続する場合に選択します (21 ページ)。
WirelessDirect	モバイル端末を本機に直接接続する場合に選択します。詳しくは「モバイル端末を本機に直接接続する (ワイヤレスダイレクト)」(23 ページ) をご覧ください。

メモ

MusicCastの拡張モードで動作している場合は「Extend」と表示します。拡張モードについての詳細は、弊社ウェブサイトの「MusicCast セットアップガイド」をご覧ください。

■ Information

本機のネットワーク情報を表示します。

NEW FW Available	新しいファームウェアが利用できる場合に表示されます (54 ページ)。
STATUS	ネットワークへの接続状態を表示します。
MC NET	MusicCast ネットワークの状態を表示します。「Ready」と表示された場合は MusicCast CONTROLLER が使用できます。
MAC	本機の MAC アドレス (有線 LAN 接続または無線 LAN/ワイヤレスダイレクト接続によって MAC アドレスが変わります)
SSID	本機の SSID (無線 LAN 接続またはワイヤレスダイレクト接続時のみ)
IP	本機の IP アドレス
SUBNET	サブネットマスク
GATEWAY	デフォルトゲートウェイの IP アドレス
DNS P	プライマリー DNS サーバーの IP アドレス
DNS S	セカンダリー DNS サーバーの IP アドレス

■ IP Address

ネットワーク情報 (IP アドレスなど) を設定します。

DHCP

DHCP サーバーを使用するかどうかを設定します。

Off	DHCP サーバーを使用せずに、ネットワーク情報を手動で設定します。詳しくは下記「ネットワークの手動設定」をご覧ください。
On (初期値)	DHCP サーバーを使用して、本機のネットワーク情報 (IP アドレスなど) を自動的に取得します。

ネットワークの手動設定

- 1 「DHCP」を「Off」に設定する。
- 2 カーソルキー (△/▽) で設定したい項目を選ぶ。

IP	IP アドレスを設定します。
SUBNET	サブネットマスクを設定します。
GATEWAY	デフォルトゲートウェイの IP アドレスを設定します。
DNS P	プライマリー DNS サーバーの IP アドレスを設定します。
DNS S	セカンダリー DNS サーバーの IP アドレスを設定します。

- 3 カーソルキー (</>) で編集したい設定値を表示する。



(例: IP アドレス設定)

カーソルキー (</>) で IP アドレスの編集するセグメントを選択できます。

- 4 カーソルキー (△/▽) で数値を変更する。
- 5 終了するには、SETUP を押す。

■ DMC Control

DLNA 対応のデジタルメディアコントローラー (DMC) からの操作を有効 / 無効にします。

設定値

Disable	DMC からの操作を無効にします。
Enable (初期値)	DMC からの操作を有効にします。

メモ

デジタルメディアコントローラー (DMC) とは、ネットワーク上でほかの機器を制御できる機器のことです。この機能を有効にすると、本機と同じネットワーク上にある DMC (Windows Media Player 12 など) から直接本機の再生を操作できます。

■ Standby (Network Standby)

ネットワーク機器から本機の電源を入れる機能 (ネットワークスタンバイ) を有効 / 無効にします。

設定値

Off	ネットワークスタンバイを無効にします。
On	ネットワークスタンバイを有効にします。「オフ」に設定時よりも電力を消費します。
Auto (初期値)	ネットワークスタンバイを有効にします。ネットワークに未接続の場合は、自動で無効になります。



本製品は、先進的な省電力設計によりネットワークスタンバイ時の消費電力 2W 以下を実現しています。

■ Network Name

ネットワークに表示される本機の名称 (ネットワーク名) を設定します。

- 「Network Name」を選び、ENTER を押す。



- ENTER を押して編集画面を表示する。



- カーソルキー (◀/▶) で変更したい位置を選び、カーソルキー (Δ/▽) で文字を変更する。



PRESET > で文字の挿入、PRESET < で文字の削除が行えます。

- 新しい名前を確定するには ENTER を押す。

- 終了するには、SETUP を押す。

■ Update (Network Update)

本機のファームウェアをネットワーク経由で更新します。

Perform Update	ファームウェア更新を実行します。詳しくは「ネットワーク経由で本機のファームウェアを更新する」(54 ページ) をご覧ください。
Version	現在のファームウェアバージョンを表示します。
ID	本機のシステム ID 番号を表示します。

Bluetooth

本機の Bluetooth 機能 (32 ページ) を設定します。

■ On/Off

Bluetooth 機能の有効 / 無効を切り替えます。

Off	Bluetooth 機能を無効にします。
On (初期値)	Bluetooth 機能を有効にします。「On」に切り替えた直後は、ネットワーク入力の音声が一時的に停止します。

■ Standby (Bluetooth Standby)

Bluetooth 機器から本機の電源を入れる機能 (Bluetooth スタンバイ機能) を有効 / 無効にします。「On」を選択した場合、本機がスタンバイでも Bluetooth 接続した機器 (33 ページ) を操作すると電源がオンになります。

Off	Bluetooth スタンバイ機能を無効にします。
On (初期値)	Bluetooth スタンバイ機能を有効にします。「Off」選択時より待機消費電力が高くなります。

メモ

「Standby (Network Standby)」(50 ページ) が「Off」のときは設定が無効となります。

YPAO

スピーカー設定の自動調整（YPAO）に関連する機能を設定します。

設定を変更するスピーカー（Speaker A、Speaker B、Speaker A+B）を選択後、以下の設定が可能です。

メモ

YPAO 測定結果を保存しているスピーカーのみ、設定変更が可能です。

■ YPAO On/Off

YPAO 測定結果の反映を有効 / 無効にします。

Off	YPAO 測定結果の反映を無効にします。
On	YPAO 測定結果の反映を有効にします。

■ VOL (YPAO Volume)

YPAO ボリューム機能を有効 / 無効にします。有効にすると、音量に連動して低音域 / 高音域のバランスが、YPAO 測定結果に応じて自動的に調節されます。これにより小音量でも自然な音質バランスを楽しめます。

Off	YPAO ボリューム機能を無効にします。
On (初期値)	YPAO ボリューム機能を有効にします。

メモ

- ・「YPAO On/Off」が「Off」の場合、YPAO ボリューム機能は無効になります。
- ・YPAO ボリューム機能を有効にしている場合、フロントディスプレイの YPAO VOL. インジケーターが点灯します。
- ・YPAO ボリューム機能を有効にしている場合、LOUDNESS (27 ページ) の調節はできません。

Volume

本機の音量関連機能を設定します。

■ Max Volume

調節可能な音量の上限値を設定します。

設定範囲

－ 30dB ～ +15.0dB/+16.5dB (5dB 単位)

初期値

+16.5dB

■ Initial Volume

電源を入れたときの音量を設定します。

設定範囲

Off、Mute、－ 80.0dB ～ +16.5dB (0.5dB 単位)

初期値

Off

AutoPowerStdby (Auto Power Standby)

オートパワースタンバイ機能の有効 / 無効を設定します。「On」に設定時は、本機を指定時間操作しなかったときに電源を自動でスタンバイにします。

Off (初期値)	オートスタンバイ機能を無効にします。
On	オートスタンバイ機能を有効にします。 NET、BLUETOOTH、USB の各入力を選択時は、20 分間再生されない状態が続くと自動でスタンバイに切り替わります。 いずれの入力を選択時でも、8 時間未操作が続くと自動でスタンバイに切り替わります。

メモ

自動的にスタンバイになる直前、フロントパネルに「AutoPowerStdby」と表示され、スタンバイに切り替わるまでの秒数が表示されます。

ECO Mode

エコモード（消費電力の節約）を有効 / 無効にします。有効にすると、本機の消費電力を低減できます。

設定を変更した場合は、ENTER を押して必ず本機を再起動してください。新しい設定は再起動後に反映されます。

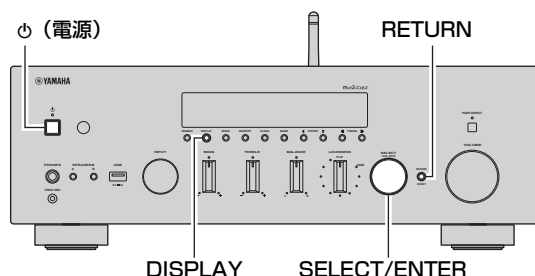
Off (初期値)	エコモードを無効にします。
On	エコモードを有効にします。

メモ

設定を「On」にすると、フロントディスプレイの表示が暗くなることがあります。

システム設定を変更する (アドバンスドセットアップメニュー)

本機のシステム設定を変更します。アドバンスドセットアップメニューは、本体のフロントパネルで操作します。



- 1 電源 (電源) を押して、電源をオフにする。
- 2 RETURN を押しながら 電源 (電源) を押す。
- 3 SELECT/ENTER を回して設定項目を選ぶ。
- 4 SELECT/ENTER を押して設定値を選ぶ。
- 5 電源 (電源) で、電源をオフにしてから再度電源を入れる。
設定変更が反映されます。

アドバンスドセットアップ メニュー項目

項目	説明	ページ
VERSION	本機にインストールされているファームウェアのバージョンを表示します。	52
SP IMP.	スピーカーインピーダンスの設定を切り替えます。	52
REMOTE ID	本体側のリモコンIDを変更します。	52
INIT	設定を初期化します。	53
UPDATE	ファームウェアを更新します。	53

ファームウェアバージョンの 確認 (VERSION)

VERSION . . . XX . XX

本機にインストールされているファームウェアのバージョンを表示します。

メモ

- ・設定メニューの「Update (Network Update)」(50ページ)でファームウェアのバージョンを確認することもできます。
- ・ファームウェアのバージョンが表示されるまでしばらく時間がかかることがあります。

スピーカーインピーダンスの 切り替え (SP IMP.)

SP IMP. . . 4ΩMIN

接続しているスピーカーのインピーダンスに合わせて本機の設定を変更します。

設定値

4ΩMIN	インピーダンスが4Ω～6Ω未満のスピーカーを本機に接続している場合に選択します。
6ΩMIN (初期値)	インピーダンスが6Ωのスピーカーを本機に接続している場合に選択します。

リモコンIDの変更 (REMOTE ID)

REMOTE ID . AUTO

本体側のリモコンIDを変更します。
通常はID1に設定してください。一部のヤマハ製プレーヤーに付属しているリモコンから操作する場合のみ、AUTOに設定します。

設定値

ID1 (初期値)、AUTO

設定の初期化 (INIT)

INIT.....CANCEL

本機の各種設定を初期化します。

選択項目

ALL	すべての設定を初期化します。
NETWORK	ネットワーク、USB および <i>Bluetooth</i> のすべての設定を初期化します。初期化を実行すると、NET/USB 入力に登録したプリセット (42 ページ) もクリアされます。
CANCEL	初期化しません。

ファームウェアの更新 (UPDATE)

UPDATE.NETWORK

機能の追加や不具合の改善に応じて、ファームウェアが更新されることがあります。ファームウェアは弊社ウェブサイトからダウンロードできます。詳しくは、ファームウェア更新時に提供される情報をご確認ください。

■ ファームウェアの更新手順

ファームウェア更新時以外は実行しないでください。また実行前に、更新時に提供される情報を必ずご確認ください。

- 1 SELECT/ENTER を繰り返し押して「USB」または「NETWORK」を選び、DISPLAY を押して更新を実行する。

選択項目

USB	USB メモリーを使ってファームウェアを更新します。
NETWORK	ネットワーク経由でファームウェアを更新します。

メモ

ネットワーク上に新しいファームウェアがある場合は、設定メニューの「Network」の「Information」を表示したときに「NEW FW Available」と表示されます。この状態からファームウェアを更新することも可能です (54 ページ)。

ネットワーク経由で本機のファームウェアを更新する

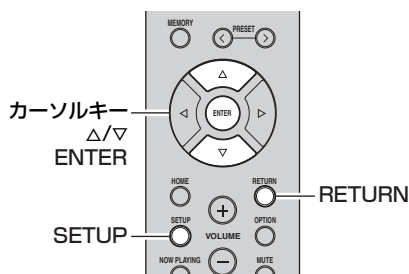
機能の追加や不具合の改善に応じて、新しいファームウェアが提供されることがあります。本機がインターネットに接続されている場合、ネットワークから最新のファームウェアをダウンロードして、ファームウェアを更新できます。

注記

- ・ファームウェア更新中は、本機を操作したり電源コードやネットワークケーブルを抜いたりしないでください。所要時間は約 5 分です（インターネット回線の速度により異なります）。
- ・インターネット回線の速度が十分に得られない場合や、無線ネットワークに接続している場合など、接続状態によってはファームウェアの更新に失敗することがあります。そのような場合は、時間をおいてアップデートをお試しいただくか、USB メモリーを使ってファームウェアを更新してください（53 ページ）。

メモ

アドバンスドセットアップメニューの「UPDATE」（53 ページ）では、USB メモリーを使ってファームウェアを更新することもできます。



- 1 SETUP を押す。
- 2 カーソルキー（Δ/▽）を使って「Network」を選び、ENTER を押す。
- 3 カーソルキー（Δ/▽）を使って「Information」を選び、ENTER を押す。
ファームウェアの更新が可能な場合、フロントディスプレイに「NEW FW Available」と表示されます。

NEW FW
Available

- 4 RETURN を押して 1 つ前の表示に戻す。
- 5 カーソルキー（Δ/▽）を使って「Update」を選び、ENTER を押す。

UPDATE
Perform Update

- 6 ファームウェアを更新するには、ENTER を押す。
ファームウェアの更新が開始されます。

メモ

ファームウェアの更新をキャンセルしたい場合は、SETUP を押して設定メニューを終了させてください。

- 7 フロントパネルに「UPDATE SUCCESS」と表示されたら、フロントパネルの（電源）を押して電源をオフにする。
これでファームウェアの更新は完了です。

■ ファームウェア更新のお知らせ

ネットワーク上に新しいファームウェアがある場合、本機の電源をオンにしたあとフロントディスプレイに「NEW FW」と表示されます。

NEW FW
Update [ENTER]

ファームウェアを更新するには、このメッセージが表示されている間に ENTER を押します（手順 6 と同様）。フロントディスプレイに「UPDATE SUCCESS」と表示されたら、フロントパネルの（電源）を押して電源をオフにします。

故障かな？と思ったら

ご使用中に本機が正常に動作しなくなった場合は、下記をご確認ください。
対処しても正常に動作しない、または下記以外で異常が認められた場合は、フロントパネルの **⓪**（電源）を押して本機の電源をオフにし、電源プラグを抜いて、お買い上げ店または巻末の「お問い合わせ窓口」にお問い合わせください。

■ 全般

症状	原因	対策	ページ
電源が入らない。	保護回路が3回続けて作動した（この状態で電源を入れようとすると、フロントパネルの電源インジケータが点滅します）。	製品保護のため電源が入らなくなります。ヤマハ修理ご相談センターに修理をご依頼ください。	—
	電源コードが接続されていない、またはきちんと接続されていない。	電源コードが本機とコンセントに接続されているか確認してください。	—
	スピーカーケーブルがショートしている状態で電源を入れた。	スピーカーケーブルの芯線をしっかりとよじり、本機とスピーカーに接続し直してから電源を入れ直してください。	17
	外部電気ショック（落雷、過度の静電気など）や、電源電圧の低下により、内部マイコンがフリーズしている。	本機の電源をオフにして電源コードのプラグを抜き、15 秒以上経過してから本機を使用してください。	—
電源がオフ/スタンバイにならない。	外部電気ショック（落雷、過度の静電気など）や、電源電圧の低下により、内部マイコンがフリーズしている。	電源コードのプラグを抜き、15 秒以上経過してから本機を使用してください。	—
音が出ない。	本機と再生機器を接続しているケーブルが正しく接続されていない。	接続を確認のうえ問題がなければ、別のケーブルに交換してください。	16
	別の入力を選択されている。	入力選択キーで正しい入力を選んでください。	14
	SPEAKERS A/Bスイッチが正しくセットされてない。	スピーカーを接続した端子に対応するスイッチ（SPEAKERS A または B）を押してスピーカー出力をオンにしてください。	14
	スピーカーケーブルが正しく接続されていない。	スピーカーケーブルの接続を確認してください。	17
	音声ミュートされている。	ミュートを解除してください。	14
	PHONES 端子にヘッドホンが接続されている。	ヘッドホンを取り外してください。	11
	最大音量の設定または電源オン時の音量設定が低く設定されている。	設定メニューの「Max Volume」および「Initial Volume」の設定を確認してください。	48
	外部機器の電源がオフになっている、または再生していない。	外部機器の電源をオンにして再生操作を行ってください。	—
	デジタル入力（OPTICAL または COAXIAL）の選択時、外部機器から PCM 以外のデジタル音声が出力されている。	外部機器の出力を PCM に変更してください。	—

症状	原因	対策	ページ
突然音が出なくなった。	スピーカーケーブルのショートなどにより、保護回路が作業した。	スピーカーインピーダンスが正しく設定されているか確認してください。	52
		スピーカーケーブルがショートしていないことを確認し、再度電源をオンにしてください。	17
	本機がオーバーヒートした。	本体上面の通気口がふさがれていないか確認してください。	—
	オートスタンバイ機能により、本機の電源がスタンバイになった。	オートスタンバイ機能（設定メニューの「AutoPowerStdby」）をオフに設定してください。	51
片側のチャンネルの音がほとんど出ない。	スピーカーケーブルが正しく接続されていない。	スピーカーケーブルの接続を確認してください。問題が解決しない場合は、ケーブルが断線している可能性があります。	17
	BALANCEコントロールが極端な位置に設定されている。	両方のスピーカーから音が出るようにBALANCE コントロールを調節してください。	27
低音がおかしい。	スピーカーケーブルの+と-が逆に接続されている。	スピーカーケーブルの+と-を正しく接続してください。	17
ハム音が出る。	ステレオピンケーブルが正しく接続されていない。	ステレオピンケーブルを正しく接続してください。症状が改善されない場合は、ケーブルに問題がないか確認してください。	16
	レコードプレーヤーのアースがGND 端子に接続されていない。	アース線を本機のGND 端子に接続してください。	16
レコードの再生音が小さい。	MC カートリッジが装着されたレコードプレーヤーで再生している。	レコードプレーヤーをMCヘッドアンプを介して接続してください。	—
本機に接続している CD プレーヤーにヘッドホンを接続して聴いていると、音が歪む。	本機の電源がオフまたはスタンバイになっている。	本機の電源を入れてください。	—
音量が小さい。	LOUDNESS コントロールを調節している。	VOLUME コントロールで音量を下げたから、LOUDNESS コントロールを中央の位置に戻し、音量を再調節してください。	27

■ リモコン

症状	原因	対策	ページ
リモコンで本機を操作できない。	操作範囲から外れている。	操作範囲内で操作してください。	15
	本体のリモコン信号受光部に日光や強い照明が当たっている。	照明または本体の向きを変えてください。	—
	乾電池が消耗している。	新しい乾電池に交換してください。	—

■ FMラジオ

症状	原因	対策	ページ
FM ラジオの受信感度が悪い、雑音が入る。	マルチパス（多重反射）などの妨害電波を受けている。	FM アンテナの高さ、向き、設置場所を変えてください。	—
	ラジオ局から離れた地域で受信している。	FM モードをモノラル受信に切り替えてください。	29
		市販の屋外アンテナを使用してください。	18
ラジオの自動選局ができない。	FM ラジオの電波が弱い。	市販の屋外アンテナを使用してください。	18
		手動で選局してください。	29

■ AMラジオ

症状	原因	対策	ページ
AM ラジオの受信感度が悪い、雑音が入る。	蛍光灯、モーターなどの雑音を拾っている。	環境により雑音を完全に除去するのは困難です。ただし、市販の屋外アンテナを使うと雑音を低減できることがあります。	—
	AM ラジオの電波が弱い。	AM アンテナの方向を変えてください。	—
		手動で選局してください。	29
		市販の屋外アンテナを使用してください。 ANTENNA (AM) 端子に付属の AM アンテナと一緒に接続してください。	18
AM ラジオ局を登録（プリセット）できない。	自動登録（オートプリセット）を使用した。	オートプリセットは FM ラジオ局のみが対象です。AM ラジオ局は手動で登録してください。	30

■ Bluetooth

症状	原因	対策	ページ
本機と Bluetooth 接続ができない。	設定メニューの「Bluetooth」が「Off」になっている。	設定メニューの「Bluetooth」を「On」にしてください。	50
	本機が別の Bluetooth 機器と接続されている。	現在の Bluetooth 接続を切断してから、目的の Bluetooth 機器と接続してください。	33
	本機と Bluetooth 機器の距離が離れすぎている。	本機と Bluetooth 機器を近づけてください。	—
	電磁波を発する機器（電子レンジ、無線機器など）がそばにある。	電磁波を発する機器の近くで使用しないでください。	—
	お使いの Bluetooth 機器が A2DP プロファイルに対応していない。	A2DP プロファイル対応の Bluetooth 機器をお使いください。	61
	Bluetooth 機器に登録されている接続情報が何らかの原因で正しく機能していない。	Bluetooth 機器の接続情報を削除してから、本機と Bluetooth 機器の接続操作を行ってください。	32
	Bluetooth アダプターなどの機器でパスキーが「0000」以外になっている。	パスキーが「0000」の機器をお使いください。	—

症状	原因	対策	ページ
音が出ない、または音が途切れる。	Bluetooth 機器の音量が小さすぎる。	Bluetooth 機器の音量を上げてください。	—
	Bluetooth 機器の音声出力先が本機になっていない。	Bluetooth 機器を操作し、音声出力先として本機を選択してください。	33
	Bluetooth 接続が切断された。	再度 Bluetooth 接続を行ってください。	32
	本機と Bluetooth 機器の距離が離れすぎている。	Bluetooth 機器を本機の近くに移動してください。	—
	電磁波を発する機器（電子レンジ、無線機器など）がそばにある。	電磁波を発生する機器の近くで使用しないでください。	—

■ USB/ネットワーク

症状	原因	対策	ページ
USB 機器が認識されない。	USB 機器が USB 端子に正しく接続されていない。	本機の電源を切り、再度 USB 機器を接続してください。	40
	FAT16/32 フォーマット以外の USB 機器を使用している。	FAT16/32 フォーマットの USB 機器を使用してください。	61
USB 機器のフォルダーやファイルが表示されない。	暗号化機能により USB 機器内のデータが保護されている。	暗号化機能のない USB 機器を使用してください。	61
ネットワーク機能を使用できない。	ネットワーク情報（IP アドレス）が正しく取得されていない。	ルーターの DHCP サーバー機能を有効にしてください。また、本機の設定メニューで「DHCP」を「On」に設定してください。DHCP サーバーを使用せずに、ネットワーク情報を手動で設定する場合は、本機の IP アドレスが他のネットワーク機器と重複しないようにしてください。	49
無線 LAN ルーター（アクセスポイント）経由でインターネットに接続できない。	無線 LAN ルーター（アクセスポイント）の電源が切れている。	無線 LAN ルーター（アクセスポイント）の電源を入れてください。	—
	本機と無線 LAN ルーター（アクセスポイント）との距離が離れすぎている。	本機と無線 LAN ルーター（アクセスポイント）を近づけて設置してください。	—
	本機と無線 LAN ルーター（アクセスポイント）の間に障害物がある。	本機と無線 LAN ルーター（アクセスポイント）の間に障害物がない場所に設置してください。	—
無線ネットワークが見つからない。	電磁波を発する機器（電子レンジ、無線機器など）がそばにある。	無線接続で本機を使用するときは、電磁波を発生する機器の近くで使用しないでください。	—
	無線 LAN ルーター（アクセスポイント）のファイアウォール設定により、ネットワークへのアクセスが制限されている。	無線 LAN ルーター（アクセスポイント）のファイアウォール設定をご確認ください。	—
パソコン（サーバー）を検出できない。	パソコン（サーバー）のメディア共有設定が誤っている。	本機がパソコン（サーバー）のフォルダーにアクセスできるように、メディアの共有設定を変更してください。	34
	パソコン（サーバー）やルーターのセキュリティ設定により、アクセス制限されている。	パソコン（サーバー）やルーターのセキュリティ設定をご確認ください。	—
	本機とパソコン（サーバー）が同じネットワークに接続されていない。	ネットワーク接続やルーターの設定を確認し、同じネットワークに接続してください。	—

症状	原因	対策	ページ
パソコン（サーバー）のファイルを表示（再生）できない。	本機またはパソコン（サーバー）が非対応のファイル形式を使用している。	本機およびパソコン（サーバー）が対応しているファイル形式を使用してください。本機が対応している音楽ファイルについては「対応ファイル形式」（61 ページ）をご覧ください。	—
インターネットラジオを再生できない。	選択したラジオ局のサービスが現在停止している。	ラジオ局側のネットワークエラーにより受信できない場合や、サービスを休止している場合があります。しばらく経ってから再生するか、別のラジオ局を選んでください。	—
	選択したインターネットラジオ局が無音を放送している	時間帯により無音放送になっているラジオ局があります。この場合は受信できても音はでません。しばらく経ってから再生するか、別のラジオ局を選んでください。	—
	ルーターなどネットワーク機器のファイアウォール設定により、ネットワークへのアクセスが制限されている。	ファイアウォールの設定をご確認ください。なお、インターネットラジオは各ラジオ局指定のポート経由でのみ再生できます。ポート番号はラジオ局により異なります。	—
AirPlay 使用時に、iPhone から本機を検出できない。	マルチ SSID 対応ルーターを使用している。	ルーターのネットワーク分離機能により、本機へのアクセスができなくなっている可能性があります。iPhone を接続する際は、本機へのアクセスが可能な SSID をお使いください（プライマリー SSID への接続をお試しください）。	—
モバイル端末の専用アプリケーションで本機が検出されない。	本機とモバイル端末が同じネットワークに接続されていない。	ネットワーク接続やルーターの設定を確認し、同じネットワークに接続してください。	—
	マルチ SSID 対応ルーターを使用している。	ルーターのネットワーク分離機能により、本機へのアクセスができなくなっている可能性があります。iPod を接続する際は、本機へのアクセスが可能な SSID をお使いください（プライマリー SSID への接続をお試しください）。	—
ネットワーク経路によるファームウェアの更新に失敗した。	ネットワークの接続状態が悪い。	しばらく経ってから再度更新をお試しください。または USB メモリーを使ってファームウェアを更新してください。	—
無線 LAN ルーター（アクセスポイント）と接続できない。	無線 LAN ルーター（アクセスポイント）の MAC アドレスフィルターが有効になっている。	MAC アドレスフィルターが有効になっている場合は接続できません。無線 LAN ルーター（アクセスポイント）の設定を変更して接続してください。	—

フロントディスプレイのエラー表示

メッセージ	内容	対策
Access denied	パソコン（サーバー）がアクセスを拒否している。	本機がパソコン（サーバー）のフォルダーにアクセスできるように、メディアの共有設定を変更してください（34 ページ）。
Access error	USB 機器にアクセスできない。	本機の電源を切り、USB 機器を接続し直してください。それでもエラーが表示される場合は、別の USB 機器に音楽ファイルを移動して再生してください。
	ネットワーク経路に問題が発生している。	ルーターおよびモデムの電源が入っていることを確認してください。 本機とルーター（またはハブ）が正しく接続されているか確認してください（19 ページ）。
Check SP Wires	スピーカーケーブルがショートしている。	各スピーカーケーブルの芯線をしっかりとよじり、本機とスピーカーに接続し直してください（17 ページ）。
No content	選択したフォルダーに本機が再生可能なファイルが含まれていない。	本機が再生可能なファイルが含まれている、別のフォルダーを選択してください。
Please wait	本機がネットワーク接続に必要な準備をしている。	メッセージが消えるまでお待ちください。3 分経っても消えない場合は、本機の電源を入れ直してください。
Unable to play	USB 機器の曲を再生できない。	再生可能なファイルか確認してください。ほかの機器でも再生できない場合は、曲データが破損している可能性があります。
	パソコン（サーバー）の曲を再生できない。	本機で再生可能なファイルか確認してください。本機が対応している音楽ファイルについては「パソコン（サーバー）の曲を再生する」（34 ページ）をご覧ください。本機が対応しているファイルなのに再生できない場合は、ネットワークに大きな負荷がかかっている可能性があります。
Version error	ファームウェアの更新に失敗している。	再度ファームウェアを更新してください（54 ページ）。

サポートしている機器/ファイル形式

対応機器

Bluetooth

- ・ 本機は A2DP および AVRCP プロファイルに対応しています。
- ・ Bluetooth 機器によっては、本機と接続できない場合や一部の機能に対応していない場合があります。

USB機器

- ・ 本機は、FAT16/FAT32 フォーマットの USB マスストレージクラスの機器（フラッシュメモリ、携帯音楽プレーヤーなど）に対応しています。
- ・ 暗号化機能がある USB 機器は使用できません。
- ・ USB 機器のメーカーや種類により、USB 機器が本機に認識されない場合や一部の機能が使えない場合があります。

AirPlay

- ・ AirPlay は iOS 4.3.3 以降を搭載した iPhone、iPad、iPod touch、OS X Mountain Lion 以降を搭載した Mac、iTunes 10.2.2 以降を搭載した Mac と PC において動作します。

対応デバイス（2017 年 6 月現在）

iPhone 7 Plus、iPhone 7、iPhone SE、iPhone 6s Plus、iPhone 6s、iPhone 6 Plus、iPhone 6、iPhone 5s、iPhone 5c、iPhone 5、iPhone 4s
iPad Pro (9.7" and 12.9")、iPad mini 4、iPad Air 2、iPad mini 3、iPad Air、iPad mini 2、iPad mini、iPad (3rd and 4th generation)、iPad 2
iPod touch (5th and 6th generation)

対応ファイル形式

USB/パソコン (NAS)

ファイル	サンプリング周波数 (kHz)	量子化ビット数 (bit)	ビットレート (kbps)	ギャップレス再生対応
WAV	32/44.1/48/88.2/96/176.4/192	16/24	—	✓
MP3	32/44.1/48	—	8 ~ 320	—
WMA	32/44.1/48	—	8 ~ 320	—
MPEG-4 AAC	32/44.1/48	—	8 ~ 320	—
FLAC	32/44.1/48/88.2/96/176.4/192	16/24	—	✓
ALAC	32/44.1/48/88.2/96	16/24	—	✓
AIFF	32/44.1/48/88.2/96/176.4/192	16/24	—	✓
DSD	2.8MHz/5.6MHz	1	—	—

* リニア PCM フォーマットのみ

メモ

- ・ パソコン（サーバー）の FLAC ファイルを再生するには、パソコン（サーバー）にインストールされているサーバーソフトが、DLNA を使った FLAC ファイルの共有に対応している必要があります。
- ・ DRM（デジタル著作権管理）により保護されたファイルは再生できません。

商標



Wireless Accessory Configuration は iOS 7 以降で動作します。

「Made for iPod」、 「Made for iPhone」、 「Made for iPad」とは、それぞれ iPod、 iPhone、または iPad 専用に接続するよう設計され、アップルが定める性能基準を満たしているとデベロッパーによって認定された電子アクセサリであることを示します。アップルは、これらの機器操作または、安全規制基準に関する一切の責任を負いません。本機を iPod、 iPhone、または iPad と使用する場合、無線通信の性能に影響する場合があります。

iTunes、AirPlay、iPad、iPhone、iPod、iPod nano、iPod touch は、米国およびその他の国々で登録されている Apple Inc. の商標です。

iPhone 商標は、アイホン株式会社のライセンスに基づき使用されています。



DLNA™ および DLNA CERTIFIED™ はデジタルリビングネットワークアライアンスの登録商標です。無断使用は固く禁じられています。

Windows™

Windows は米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。

Internet Explorer、Windows Media Audio、Windows Media Player は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標、または商標です。

Android™

Android および Google Play は、Google Inc. の商標です。



Wi-Fi CERTIFIED ロゴは Wi-Fi Alliance の認証マークです。

Wi-Fi Protected Setup マークは Wi-Fi Alliance のマークです。

Wi-Fi、Wi-Fi Alliance、Wi-Fi CERTIFIED、Wi-Fi Protected Setup、WPA、WPA2 は Wi-Fi Alliance の商標または登録商標です。



Bluetooth® およびロゴは Bluetooth SIG の登録商標であり、ヤマハ株式会社はライセンスに基づき使用しています。

Bluetooth プロトコルスタック (Blue SDK)

©1999-2014 OpenSynergy GmbH
All rights reserved. All unpublished rights reserved.

GPL/LGPL について

本製品は、GPL/LGPL ライセンスが適用されたオープンソースソフトウェアのコードを一部に使用しています。お客様は GPL/LGPL ライセンスの条件に従い、これらのソフトウェアのソースコードを入手、改変、再配布する権利があります。GPL/LGPL ライセンスの適用を受けるソフトウェアの概要、ソースコードの入手、GPL/LGPL ライセンスの内容につきましては、以下の弊社ウェブサイトをご覧ください。

<http://download.yamaha.com/sourcecodes/musiccast/>



ラジコ /radiko および radiko ロゴは株式会社 radiko の登録商標です。



Spotify および Spotify ロゴは Spotify Group の登録商標です。

Spotify のソフトウェアは、以下に記載のサードパーティソフトウェアを利用しています。
<https://developer.spotify.com/esdk-third-party-licenses/>



MusicCast はヤマハ株式会社の登録商標です。



ヤマハエコラベルは、優れた環境性能を備えた製品として、ヤマハグループが認定するマークです。

主な仕様

ネットワーク

- ・入力端子：NETWORK×1（100Base-TX/10Base-T）
- ・PC クライアント機能
- ・DLNA ver.1.5 対応
- ・AirPlay 対応
- ・インターネットラジオ
- ・radiko.jp
- ・Spotify
- ・Wi-Fi 機能
モバイル端末のダイレクト接続
対応セキュリティ
..... WEP、WPA2-PSK(AES)、Mixed Mode
周波数 2.4GHz
無線周波数（操作周波数）..... 2412MHz～2472MHz
最大出力（E.I.R.P.）..... 17.5dBm（56.2mW）
対応規格..... IEEE 802.11 b/g/n
無線接続設定
WPS（Wi-Fi Protected Setup）..... WPS 対応
iOS デバイスのワイヤレス設定共有対応

Bluetooth 機能

- ・Bluetoothバージョン Bluetooth 2.1 + EDR
- ・周波数 2.4GHz
- ・無線周波数（操作周波数）..... 2402MHz～2480MHz
- ・最大出力（E.I.R.P.）..... 4.0dBm（2.5mW）
- ・無線出力 Bluetooth Class 2
- ・対応プロファイル
送信機能
本機 → シンク機器（Bluetooth ヘッドホンなど）
プロファイル：A2DP version 1.3、AVRCP version 1.6
コーデック：SBC
受信機能
本機 ← ソース機器（iPhone/Android など）
プロファイル：A2DP version 1.3、AVRCP version 1.6
コーデック：SBC、AAC
コンテンツ保護：SCMS-T

USB

- ・入力端子：USB×1（USB2.0）
- ・USB マスストレージクラス対応
- ・最大供給電流：1.0A

オーディオ

- ・定格出力
（20Hz～20kHz、0.019%THD、8Ω）..... 100W+100W
（20Hz～20kHz、0.038%THD、6Ω）..... 120W+120W
- ・ダイナミックパワー（IHF）（8/6/4/2Ω）..... 140/170/220/290W
- ・パワーバンド（メインL/R）（0.06%THD、40W、8Ω）..... 10Hz～50kHz
- ・ダンピングファクタ（SPEAKERS A）（1kHz、8Ω）..... 240 以上
- ・実用最大出力（JEITA）（1kHz、10%THD、6Ω）... 170W

- ・入力感度 / 入力インピーダンス
PHONO（MM）..... 2.5mV/47kΩ
CD 他..... 200mV/47kΩ
- ・最大許容入力
PHONO（MM）（1kHz、0.03% THD）..... 45mV
CD 他（1kHz、0.5% THD）..... 2.2V
- ・出力電圧 / 出力インピーダンス（CD 他、入力 1kHz、200mV）
OUT..... 200mV/1.0kΩ
SUBWOOFER OUT..... 4.0V/1.2kΩ
（カットオフ周波数）..... 90Hz
PHONES（8Ω load）..... 470mV/470Ω
- ・周波数特性
CD 他（20Hz～20kHz）..... 0±0.5dB
CD 他（10Hz～100kHz、PURE DIRECT ON）..... 0±1.0dB
- ・RIAA 偏差
PHONO（MM）..... ±0.5dB
- ・全高調波歪率
PHONO（MM）→ OUT（20Hz～20kHz、2.5V）..... 0.03%以下
CD 他→ SPEAKERS（20Hz～20kHz、50W、8Ω）..... 0.019%以下
- ・信号対雑音比（IHF-A ネットワーク）
PHONO（MM）（入力ショート、5mV）..... 82dB 以上
CD 他（PURE DIRECT ON、入力ショート、200mV）..... 100dB 以上
- ・残留ノイズ（IHF-A ネットワーク）..... 70μV
- ・チャンネルセパレーション
CD 他（入力 5.1kΩ ショート、1kHz/10kHz）..... 65/50dB 以上
- ・トーンコントロール特性
BASS
可変幅（20Hz）..... ±10dB
ターンオーバー周波数..... 300Hz
TREBLE
可変幅（20kHz）..... ±10dB
ターンオーバー周波数..... 3.0kHz
- ・LOUDNESS コントロール（アッテネーション 1kHz）..... -30dB
- ・ゲイントラッキングエラー（+16.5dB～-80dB）..... 0.5dB 以下
- ・デジタル入力（OPTICAL/COAXIAL）
対応サンプリング周波数
..... 32/44.1/48/88.2/96/176.4/192kHz

FM チューナー

- ・受信周波数範囲..... 76.0～94.9MHz
- ・50dB SN 感度（IHF、1kHz、100% MOD.）
モノラル..... 3μV（20.8dBf）
- ・信号対雑音比（IHF）
モノラル / ステレオ..... 69dB/67dB
- ・歪率（1kHz）
モノラル / ステレオ..... 0.5%/0.6%
- ・アンテナ入力..... 75Ω アンバランス

AM チューナー

- ・受信周波数範囲..... 531～1611kHz

全般

・電源電圧	AC100V、50/60Hz
・消費電力	250W
・オフモード	0.1W
・待機電力	0.1W
・ネットワークスタンバイ ON	
有線接続時	1.7W
無線接続時 (Wi-Fi/ ワイヤレスダイレクト / <i>Bluetooth</i>)	
.....	1.8W
・寸法 (幅 × 高さ × 奥行き)	435×151×392mm
(脚部、突起物を含む)	
・参考寸法 (幅 × 高さ × 奥行き) (無線アンテナ直立時)	
.....	435×215×392mm
(脚部、突起物を含む)	
・質量	11.0kg

* 本書は、発行時点での最新仕様で説明しています。最新版は、ヤマハウェブサイトからダウンロードできます。

索引

A	
AC IN 端子	13
Access denied、 フロントディスプレイメッセージ	60
Access error、 フロントディスプレイメッセージ	60
AirPlay	38
AM アンテナ	18
AM ラジオを聴く	29
ANTENNA 端子	13
Auto Preset	29
AutoPowerStdby、SETUP	51
B	
BALANCE コントロール	27
BASS コントロール	27
Bluetooth Standby、SETUP>Bluetooth ...	50
Bluetooth、SETUP	50
Bluetooth インジケーター	12
Bluetooth 再生	32
C	
CD 端子	13
CD プレーヤー、接続	16
Check SP Wires、 フロントディスプレイメッセージ	60
Clear Preset	31
COAXIAL 端子	13
Connection、SETUP>Network	49
Ctrl Knob Err、 フロントディスプレイメッセージ	45
D	
DHCP、SETUP>Network>IP Address	49
DIMMER	10
Disconnect MIC、 フロントディスプレイメッセージ	44
DMC Control、SETUP>Network	50
DNS P、SETUP>Information	49
DNS P、SETUP>Network>IP Address	49
DNS S、SETUP>Information	49
DNS S、SETUP>Network>IP Address	49
DVD プレーヤー、接続	16
E	
ECO Mode、SETUP	51
[ENTER]:Start、 フロントディスプレイメッセージ	44
Error Info、 フロントディスプレイメッセージ	44
F	
FM アンテナ	18
FM ラジオを聴く	29
G	
GATEWAY、SETUP>Information	49
GATEWAY、 SETUP>Network>IP Address	49
H	
HOME、リモコン	14
I	
ID、SETUP>Network>Update	50
Information、SETUP	49
INIT、アドバンスドセットアップメニュー	53
Initial Volume、SETUP>Volume	51
INPUT セレクター	11
Internal Error、 フロントディスプレイメッセージ	45
iOS デバイス設定共有	21
IP Address、SETUP>Network	49
IP、SETUP>Information	49
IP、SETUP>Network>IP Address	49
L	
Level Error、 フロントディスプレイメッセージ	46
LINE 端子	13
LOUDNESS コントロール	27
M	
MAC、SETUP>Information	49
Max Volume、SETUP>Volume	51
MC NET、SETUP>Information	49
MusicCast CONTROLLER	25
MusicCast の設定	25
MUTE インジケーター	12
N	
Network Name、SETUP>Network	50
Network Standby、SETUP>Network	50

Network Update、SETUP>Network	50	SPEAKERS 端子	13
Network、SETUP	49	Spotify	39
NETWORK 端子	13	SSID、SETUP>Information	49
NEW FW Available、 SETUP>Information	49	Standby、SETUP>Bluetooth	50
No content、 フロントディスプレイメッセージ	60	Standby、SETUP>Network	50
No MIC、フロントディスプレイメッセージ	45	STATUS、SETUP>Information	49
No Signal、 フロントディスプレイメッセージ	45	STEREO インジケーター	12
No SPEAKERS、 フロントディスプレイメッセージ	45	SUBNET、SETUP>Information	49
No Warning、 フロントディスプレイメッセージ	44	SUBNET、 SETUP>Network>IP Address	49
Noisy、フロントディスプレイメッセージ	45	SUBWOOFER OUT 端子	13
NOW PLAYING、リモコン	14		
O		T	
On/Off、SETUP>Bluetooth	50	TREBLE コントロール	27
OPTICAL 端子	13	TRIGGER OUT 端子	13
Out of Phase、 フロントディスプレイメッセージ	46	TUNED インジケーター	12
Over Distance、 フロントディスプレイメッセージ	46		
P		U	
Perform Update、 SETUP>Network>Update	50	Unable to play、 フロントディスプレイメッセージ、	60
PHONES 端子	11	Unplug PHONES、 フロントディスプレイメッセージ	45
PHONO 端子	13	Update、SETUP>Network	50
Please wait、 フロントディスプレイメッセージ	60	UPDATE、 アドバンスドセットアップメニュー	53
PURE DIRECT スイッチ	27	USB 機器の曲の再生	40
PureDirect Err、 フロントディスプレイメッセージ	45	User Cancel、 フロントディスプレイメッセージ	45
R		V	
radiko.jp	39	Version error、 フロントディスプレイメッセージ	60
REMOTE ID、 アドバンスドセットアップメニュー	52	Version、SETUP>Network>Update	50
Result Info、 フロントディスプレイメッセージ	44	VERSION、 アドバンスドセットアップメニュー	52
RETURN	11	VOL、SETUP>YPAO	51
S		Vol.Interlock	47
SELECT/ENTER	11	VOLUME	11
SETUP	48	Volume Trim	47
Signal Info.	47	Volume、SETUP	51
SLEEP インジケーター	12	W	
SP IMP、 アドバンスドセットアップメニュー	52	WAC	20
SPEAKERS A/B	11	Wi-Fi インジケーター	12
		Wired、SETUP>Network>Connection	49
		Wireless、 SETUP>Network>Connection	49
		WirelessDirect、 SETUP>Network>Connection	49
		WPS ボタン設定	22

Y		
YPAO	43	
YPAO On/Off、SETUP>YPAO	51	
YPAO VOL. インジケーター	12	
YPAO Volume、SETUP>YPAO	51	
YPAO、SETUP	51	
あ		
アドバンスドセットアップメニュー	52	
い		
インターネットラジオ	37	
え		
エラー表示、フロントディスプレイ	60	
エラーメッセージ、YPAO	45	
お		
オートプリセット、FM/AM ラジオ	29	
オプションメニュー	47	
か		
乾電池、リモコン	15	
け		
警告メッセージ、YPAO	46	
さ		
サーバーの曲の再生	34	
再生、Bluetooth 機器	33	
再生キー、リモコン	15	
サブウーファー、接続	16	
し		
シャッフル再生、USB 曲の再生	41	
シャッフル再生、パソコン / サーバー曲再生	36	
手動登録、FM/AM ラジオ	30	
手動無線接続	22	
初期化、アドバンスドセットアップメニュー	53	
す		
スピーカー、接続	16	
スピーカーインピーダンス切替	52	
スピーカー自動設定	43	
スリープタイマー	28	
せ		
接続状態の確認、ネットワーク	24	
切断、Bluetooth 機器	33	
設定メニュー	48	
て		
電源インジケーター	10	
電源コード、接続	19	
に		
入力選択キー、リモコン	14	
入力ソース選択	26	
ね		
ネットワークケーブル、接続	19	
ネットワーク接続	20	
は		
バイワイヤリング接続	17	
パソコンの曲の再生	34	
バナナプラグ、接続	17	
ふ		
ファームウェア更新	53	
ファームウェア更新、ネットワーク経由	54	
ファームウェアバージョンの確認	52	
フロントディスプレイ	12	
プリセット機能、ネットワーク / USB	42	
フロントディスプレイ、エラー表示	60	
フロントディスプレイ、表示切替	26	
へ		
ペアリング、Bluetooth 機器	32	
む		
無線アンテナ	19	
り		
リピート再生、USB 曲の再生	41	
リピート再生、パソコン / サーバー曲再生	36	
リモコン ID 変更	52	
れ		
レコードプレーヤー、接続	16	
わ		
ワイヤレスダイレクト	23	

お問い合わせ窓口

ヤマハAV製品の機能や取り扱いに関するお問い合わせ

■お客様コミュニケーションセンター オーディオ・ビジュアル機器ご相談窓口



固定電話は、全国市内通話料金でご利用いただけます。
通話料金は音声案内で確認できます。

上記の番号でつながらない場合は、以下の番号におかけください。
TEL (053) 460-3409

受付：月～金曜日 10:00～17:00
(土曜、日曜、祝日およびセンター指定の休日を除く)

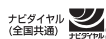
■ホームシアター・オーディオサポートメニュー

お客様からお寄せいただくよくあるお問い合わせをまとめました。
ぜひご覧ください。

<http://jp.yamaha.com/support/audio-visual/>

ヤマハAV製品の修理、サービスパーツに関するお問い合わせ

■ヤマハ修理ご相談センター



固定電話は、全国市内通話料金でご利用いただけます。
通話料金は音声案内で確認できます。

上記の番号でつながらない場合は、以下の番号におかけください。
TEL (053) 460-4830

受付：月～金曜日 10:00～17:00
(土曜、日曜、祝日およびセンター指定の休日を除く)

FAXでのお問い合わせ

北海道、東北、関東、甲信越、東海地域にお住まいのお客様
(03) 5762-2125

北陸、近畿、中国、四国、九州、沖縄地域にお住まいのお客様
(06) 6649-9340

修理品お持ち込み窓口

受付：月～金曜日 10:00～17:00
(土曜、日曜、祝日およびセンター指定の休日を除く)

*お電話は、ヤマハ修理ご相談センターでお受けします。

東日本サービスセンター

〒143-0006 東京都大田区平和島2丁目1-1
京浜トラックターミナル内14号棟A-5F
FAX (03) 5762-2125

西日本サービスセンター

〒556-0011 大阪市浪速区難波中1丁目13-17
ナンノ社本ニッセイビル7F
FAX (06) 6649-9340

*名称、住所、電話番号、URLなどは変更になる場合があります。

保証とアフターサービス

サービスのご依頼、お問い合わせは、お買い上げ店、またはヤマハ修理ご相談センターにご連絡ください。

- **保証期間**
製品に添付されている保証書をご覧ください。
- **保証期間中の修理**
保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。
- **保証期間が過ぎているとき**
修理によって製品の機能が維持できる場合にはご要望により有料にて修理いたします。
- **修理料金の仕組み**

技術料	故障した製品を正常に修復するための料金です。技術者の人件費、技術教育費、測定機器等設備費、一般管理費等が含まれています。
部品代	修理に使用した部品代金です。その他修理に付帯する部材等を含む場合もあります。
出張料	製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。別途、駐車料金をいただく場合があります。
- **補修用性能部品の最低保有期間**
補修用性能部品の最低保有期間は、製造打ち切り後8年です。補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。
- **製品の状態は詳しく**
サービスをご依頼されるときは製品の状態をできるだけ詳しくお知らせください。また製品の品番、製造番号などもあわせてお知らせください。
※ 品番、製造番号は製品の背面もしくは底面に表示してあります。
- **スピーカーの修理**
スピーカーの修理可能範囲はスピーカーユニットなど振動系と電気部品です。尚、修理はスピーカーユニット交換となりますので、エージングの差による音色の違いが出る場合があります。
- **摩耗部品の交換について**
本機には使用年月とともに性能が劣化する摩耗部品(下記参照)が使用されています。摩耗部品の劣化の進行度合は使用環境や使用時間等によって大きく異なります。
本機を未永く安定してご活用いただくためには、定期的に摩耗部品を交換されることをおすすめします。
摩耗部品の交換は必ずお買い上げ店、またはヤマハ修理ご相談センターへご相談ください。

摩耗部品の一例

ボリュームコントロール、スイッチ・リレー類、接続端子、ランプ、ベルト、ピンチローラー、磁気ヘッド、光ヘッド、モーター類など

※ このページは、安全にご使用いただくためにAV製品全般について記載しております。

永年ご使用の製品の点検を！



愛情点検

こんな症状はありませんか？

- 電源コード・プラグが異常に熱い。
- コゲくさい臭いがする。
- 電源コードに深いキズか変形がある。
- 製品に触れるとビリビリと電気をを感じる。
- 電源を入れても正常に作動しない。
- その他の異常・故障がある。



すぐに使用を中止してください。

事故防止のため電源プラグをコンセントから抜き、必ず販売店に点検をご依頼ください。
なお、点検・修理に要する費用は販売店にご相談ください。

Manual Development Group
© 2017 Yamaha Corporation

2022年1月 発行 AMEM-W-B0
Printed in Malaysia

ZX95120